

桶川市次世代育成支援行動計画

(後期計画)



平成22年4月

桶 川 市

あいさつ

現在、わが国は急速に少子・高齢化が進行しており、子どもの自立や社会性の減退、地域社会の活力の低下や社会保障費の増加、労働力の減少による経済活力の減退など、将来に深刻な影響を与えることが懸念されています。

平成 15 年成立した次世代育成支援対策推進法に基づき、地方公共団体と従業員が 300 人を超える企業は次世代育成支援行動計画を策定し、国、地方公共団体、企業をあげて次世代育成のために努力してきました。本市も、平成 17 年 3 月、「桶川市次世代育成支援行動計画」(前期計画)を策定し、誰もが安心して子どもを生み、育てる環境づくりを目指し、様々な子育て支援事業を推進してまいりました。

この間、保育所や学童クラブの待機児童の増加に絡み、また、家庭で子育てをしている保護者の孤立化の問題、子ども手当に象徴される経済的負担の軽減などをめぐり、国における子育てに関する議論も大きくなっています。一方、地方自治体は財政状況が逼迫する中、保育所、放課後児童クラブの増設を進めてきましたが、入所入室希望者の増加には追いつかない状態が続いています。

本市では、前期計画に沿い、平成 18 年の子育て支援センター開設、その後の病後児保育室開設、放課後児童クラブの改築と定員増、そして、認定こども園の制度ができると、いち早く民間保育所に働きかけ、県内 3 番目の認定こども園とするなど、『子育てするなら桶川市』の実現を目指し努力してきました。

今回、これまでの成果と平成 20 年度末に行ったニーズ調査をベースに、次代を担う子ども達の健やかな成長を願い、「子どもがのびのびと個性豊かに育ち、育てられるまち」を目指し、平成 22 年度から平成 26 年度までの「桶川市次世代育成支援行動計画」を策定いたしました。

この計画は、子どもの利益を確保することを基本としつつ、保護者の仕事と子育ての両立の考え「ワークライフ・バランス」の推進もめざして、行政、学校、企業、地域住民、家庭等が互いに緊密な連携を図りながら取り組むことを目標としておりますので、皆様には、なにとぞお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この計画の策定にあたり、ご審議いただきました桶川市次世代育成支援行動計画策定委員の皆様、貴重なご意見をいただきました市民、労働団体の皆様に深く感謝申し上げます。

平成 22 年 4 月

桶川市長 岩 崎 正 男

はじめに

『子どもは未来からの旅人』 5年前のこのページは、この言葉で始まりました。あれから5年が経ち、桶川市においてもたくさんの赤ちゃんが生まれ、多くの子どもたちが成長しています。どの子どもも健やかに育てたいと願わずにはられません。

子どもが成長するという事は、すなわち、次々と起こる課題に立ち向かうことであり、その課題を乗り越えていくことでもあります。しかしながら、場合によっては、子どもの力だけでは、親を含めた家族の力でも課題を乗り越えていくことが、難しいことがあるかもしれません。社会全体で子育てを支援していく、一人ひとりの人権を、特に子どもの人権を尊重する地域でありたいと思います。

金融危機に端を発する長引く不況の中、今後もますます働きながら子育てをする家庭も増えていくことでしょう。厳しい社会状況ではありますが、だからこそ、子どもを安心して生み、育てることができる社会であって欲しいと思います。また、子育てと働くことを両立するために、保育サービスのより一層の充実も求められています。

考えてみれば、子どもの最善の利益のために周囲ができることは、いつの時代でもそれほど大きくは変わらないのかもしれませんが。そう考えると、これからの5年間もその先に続いている道のりの一過程であります。子どものためにできることを地道にこつこつと着実にやり続けてきた「過去から未来」への長い道のりの架け橋なのだと思います。

13名の策定委員は、様々な思いや願いをもって、この「桶川市次世代育成支援行動計画」(後期計画)を策定しました。策定に当たりましては多くの方々にご支援・ご協力をいただきました。ありがとうございました。

平成22年2月

「桶川市次世代育成支援行動計画」策定委員会

目 次

第1章 基本的な考え方	
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の性格	1
3 計画の期間	1
第2章 桶川市の子どもたちの現状と課題	2
1 子どもの数と少子化の動向	2
2 家庭の状況	6
3 ニーズ調査にみる子育ての状況	8
○保護者の就労状況について	8
○保育サービスの利用について	12
○放課後児童クラブの利用について	14
○病児・病後児保育について	16
○一時預かりの利用状況及び利用希望	18
○ファミリーサポートセンター利用状況及び利用希望	21
○育児休業制度について	23
○子育て支援サービスの認知度・利用度・満足度	26
○子育ての実態と希望	30
○地域医療体制について	40
○市の子育て支援事業に関する意見・要望	43
第3章 基本理念	45
第4章 重点施策	46
第5章 施策の体系	47
第6章 具体的施策の展開	49
1 子どもを育てることに魅力を感じるまちづくり	49

(1) 子育てを支援する施設整備の推進	49
① 地域子育て支援拠点の整備	49
② 子育てサロンの整備	50
③ ファミリーサポート・センター事業の充実	50
④ 児童館の整備	50
(2) 子育てを支援するサービス体制の充実	50
① 相談事業の充実	51
② 多様な人材の確保と活用	51
③ 子育て支援ネットワークづくりの推進	51
④ 乳児の健全な育成環境の確保	51
(3) 子育て家庭の経済的負担の軽減	52
① 支援制度の充実及び周知・活用	52
② 医療費負担の軽減	53
③ 教育費負担の軽減	53
④ 家庭保育室保護者助成金の充実	53
(4) 子どもと親の健康づくりの推進	53
① 総合的な母子保健システムの確立	54
② 小児医療体制の充実	54
③ 「食育」の充実	55
④ 健康教育・性教育の充実	55
(5) 潤いのあるまちづくりの推進	55
① 子どもの体験活動の充実	56
② 遊び場の確保	56
③ 子どもが安全に育つまちづくりの推進	56
④ 公共施設バリアフリー化の促進	56
⑤ 潤いのある環境の保全・整備	57
◎ 前期計画の評価と後期計画の目標	58
2 働きながら、安心して子どもを育てられるまちづくり	70
(1) 保育サービスの充実	70

① 多様な保育サービスの充実	71
② 保育所の多機能化の推進	72
(2) 放課後児童クラブの充実	72
① 放課後児童クラブの充実	72
(3) 子育てと仕事の両立支援	73
① 事業主への働きかけの推進	74
② ワークライフバランス(仕事と家庭生活の調和)の推進...	74
③ 男女共同参画意識の啓発促進	74
◎ 前期計画の評価と後期計画の目標	76
3 どの子ども健やかに育ち、育てられるまちづくり	80
(1) 子どもの個性と豊かな心を育む教育の推進	80
① 幼児教育の充実	82
② 学校教育の充実	82
③ 家庭教育の充実	84
(2) 子どもの人権の擁護	84
① 児童の権利に関する条約の普及促進	85
② 児童虐待防止対策の推進	85
(3) 支援を要する子ども・家庭へのきめ細やかな取組みの推進...	86
① ひとり親家庭の自立支援の推進	86
② 障害のある子どもへの支援の充実	86
◎ 前期計画の評価と後期計画の目標	87
第7章 目標事業量の設定	92
資料編	94

第 1 章 基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

少子化が進む中で、子どもと家庭を取り巻く環境も大きく変わってきました。また、核家族化の進行に伴い、高齢者などと触れ合う機会も減少してきています。一方、子育て家庭における育児不安や悩みは増大し、総合的に子育て家庭を支援していくことがますます必要になってきています。

こうした状況の中で、桶川市においては、平成11年3月に「桶川市子育て支援総合計画／べに花の郷エンゼルプラン」を策定し、また、平成15年7月に国において「次世代育成支援対策推進法」が制定されたことに伴い、平成17年3月に「桶川市次世代育成支援行動計画」を策定し、様々な子育て支援施策を進めてきました。しかしながら、その間も児童人口は減少を続け、桶川市においても少子化対策は重要な課題となっているところです。

市としては、こうした状況を十分に考慮し、これまでの成果等を踏まえ、「桶川市次世代育成支援行動計画」(前期計画)を継承しつつ、更に効果のある少子化対策・子育て支援対策を総合的に推進するため、「桶川市次世代育成支援行動計画」(後期計画)を策定するものです。

2 計画の性格

この計画は、次世代育成支援対策推進法に基づく「市町村行動計画」として位置づけられるもので、次のような性格をもっています。

- (1) 次世代を担う子どもたちが健やかに育つよう、桶川市がその支援策を推進するための基本的かつ総合的な計画です。
- (2) 子育て家庭を行政、地域、企業及び学校等地域社会全体で支援していくための方法や方向を示しています。
- (3) 国及び県の次世代育成支援行動計画、並びに「桶川市第五次総合振興計画」と整合性をもった計画です。

3 計画の期間

この「桶川市次世代育成支援行動計画」(後期計画)の期間は、平成22年度から平成26年度までの5年間です。計画の推進状況については、毎年度評価を行うとともに、その結果を公表します。

第 2 章 桶川市の子どもたちの現状と課題

1 子ども数と少子化の動向

(1) 児童人口の減少

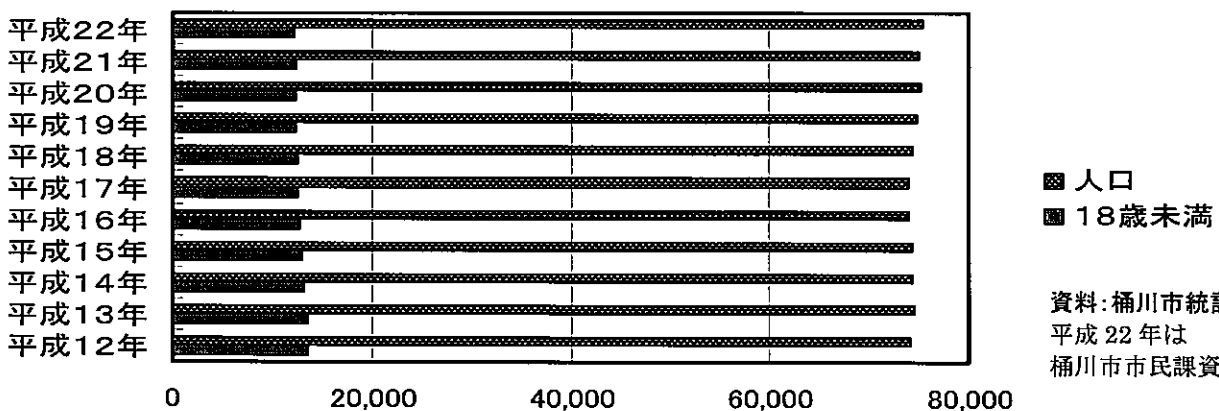
桶川市における18歳未満の児童人口は、平成10年には14,041人でしたが、少しずつ減少を続け、平成22年には12,185人となっています。

また、総人口に占める児童人口の割合は、平成10年の19.0%から毎年減少を続けています。

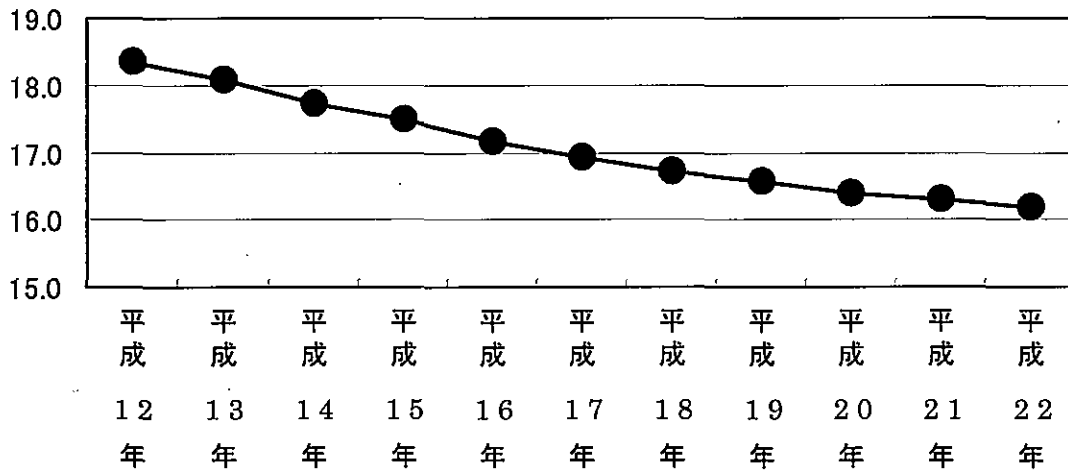
計画の最終年である平成26年を想定した場合は、引き続き減少していくことが予想されます。

	18歳未満(人)	人口(人)	18歳未満の割合
平成10年	14,041	73,884	19.0
平成11年	13,785	74,060	18.6
平成12年	13,615	74,133	18.4
平成13年	13,463	74,456	18.1
平成14年	13,197	74,408	17.7
平成15年	13,024	74,382	17.5
平成16年	12,668	73,856	17.2
平成17年	12,549	74,038	16.9
平成18年	12,428	74,354	16.7
平成19年	12,395	74,769	16.6
平成20年	12,345	75,074	16.4
平成21年	12,255	75,020	16.3
平成22年	12,185	75,268	16.2

児童人口及び人口（※各年1月1日現在で外国人を含まず）



18歳未満の人口の割合（※各年1月1日現在で外国人を含まず）



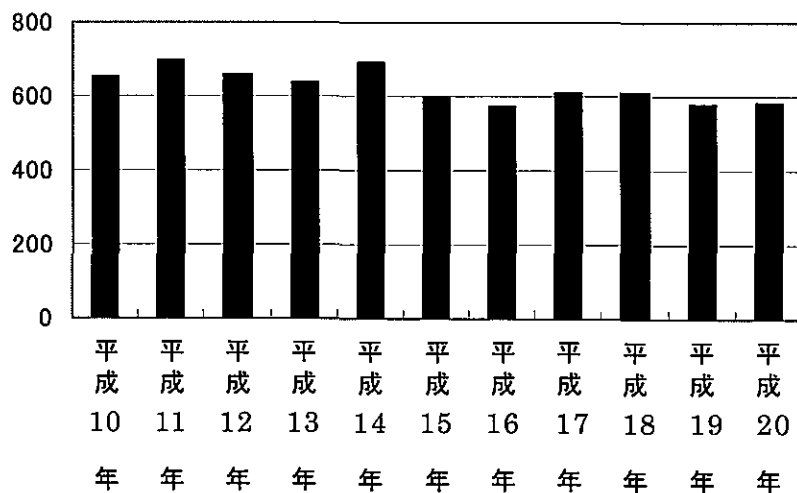
資料:桶川市統計書
平成22年は
桶川市市民課資料

(2) 出生数について

桶川市における出生数は、最近の10年間で比較した場合、平成11年の695人をピークに、平成15年までは600人台を維持していましたが、平成16年に574人と最低の出生数となった後は、600人前後で推移していますが、全体としては減少傾向にあります。

出生数の推移

出生数	
平成10年	654
平成11年	695
平成12年	659
平成13年	636
平成14年	691
平成15年	602
平成16年	574
平成17年	611
平成18年	613
平成19年	580
平成20年	586



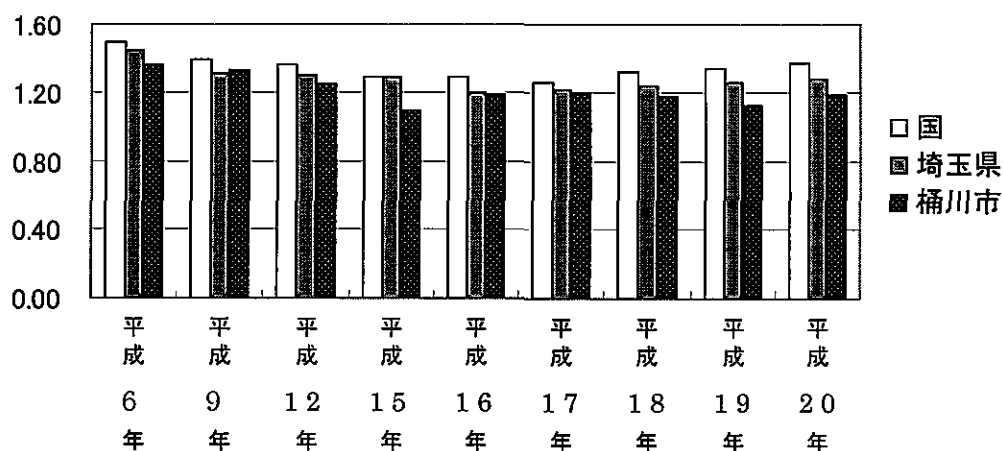
資料:桶川市統計書

(3) 合計特殊出生率の推移

1人の女性が一生の間に産む子どもの数を示す合計特殊出生率は、国・埼玉県・桶川市とも年々低下し、国においては平成17年に1.26人、埼玉県においては平成16年に1.20人、桶川市においては平成15年に1.09人と最小の出生率を記録しましたが、その後は微増傾向にあり、出生率は僅かながら上昇となっています。

	平成6年	平成9年	平成12年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
国	1.50	1.39	1.36	1.29	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37
埼玉県	1.45	1.31	1.30	1.29	1.20	1.22	1.24	1.26	1.28
桶川市	1.36	1.33	1.25	1.09	1.19	1.20	1.18	1.13	1.19

合計特殊出生率



資料:厚生労働省「人口動態統計」埼玉県

(4) 今後の人口と子ども数

本市の人口を平成21年（現況）と5年後の平成26年（推計）で比較した場合、総人口はほぼ同じとなりますが、顕著なのは、0～4歳及び5～9歳の人口と人口比率が減少し、65歳以上の人口と人口比率が増加することが見込まれます。

子ども数の目標年次における見通

単位：人（％）

	平成21年（現況）	平成26年
総人口	75,564	74,902
0～19歳	13,742 (18.2%)	12,729 (18.2%)
0～4歳	3,056 (4.0%)	2,600 (3.5%)
5～9歳	3,439 (4.6%)	3,124 (4.2%)
10～14歳	3,567 (4.7%)	3,442 (4.6%)
15～19歳	3,680 (4.9%)	3,563 (4.8%)
20～64歳	46,065 (61.0%)	43,015 (57.4%)
65歳以上	15,757 (20.9%)	19,158 (25.6%)

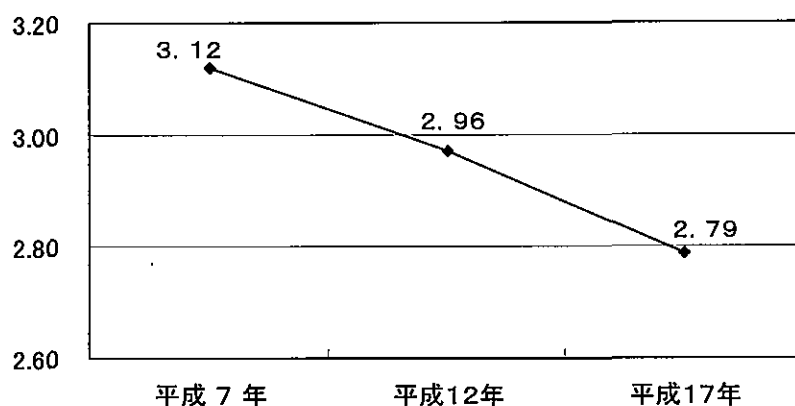
(注)人口は平成17年～21年の各4月1日時点の人口をもとにコーホート変化率法により算出

2 家庭の状況

(1) 家庭の形態

1世帯あたりの平均人員数は、減少傾向にあり、平成7年が3.12人、平成12年が2.96人、平成17年が2.79人となっています。

また、18歳未満の子どもがいる世帯をみると、82.7%の世帯が核家族であり、微増ですが年々増えています。



資料:平成17年国勢調査

18歳未満の子どもがいる核家族世帯

	核家族世帯	その他の世帯
平成7年	80.7%	19.3%
平成12年	81.3%	18.7%
平成17年	82.7%	17.3%

18歳未満の子どもがいる世帯の平均子ども数の推移

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	県 平成17年
18歳未満の子どもがいる世帯平均	1.76	1.71	1.70	1.68	1.68
うち6歳未満がいる世帯	1.33	1.30	1.30	1.28	1.28
核家族世帯	1.74	1.69	1.68	1.68	1.69
うち6歳未満の子どもがいる世帯	1.31	1.29	1.30	1.28	1.29
その他の親族世帯(三世帯同居)	1.84	1.80	1.75	1.68	1.69
うち6歳未満の子どもがいる世帯	1.38	1.31	1.28	1.30	1.27

資料:平成17年国勢調査

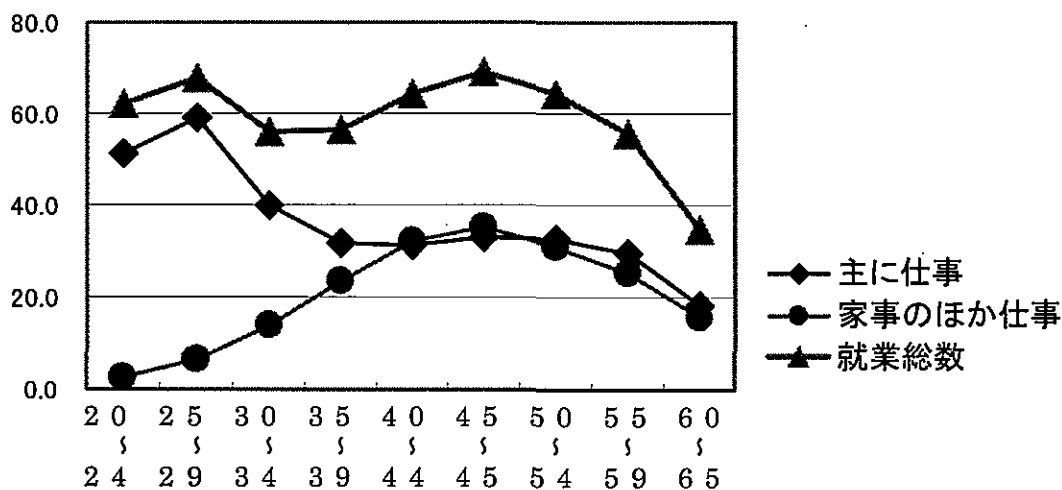
(2) 女性の就労状況

本市の女性の就労状況をみると、「30～34歳」で就業率がいったん下がりますが、再び「35～39歳」から上昇し、そのピークは「45～49歳」で69.1%となっています。就労形態をみると、20歳代は圧倒的に主に仕事の比率が高くなっていますが、40歳からは、「主に仕事」で就労している方と、「家事のほか仕事」で就労している方がほぼ同数となっています。

女性の働き方が、結婚・出産・育児と大きくかかわっていることがわかります。

女性の就業形態別就労状況

	主に仕事	家事のほか仕事	就業総数
20～24	51.3%	2.8%	62.1%
25～29	59.2%	6.5%	67.8%
30～34	40.0%	14.1%	55.9%
35～39	31.7%	23.5%	56.7%
40～44	31.1%	32.2%	64.2%
45～49	33.0%	35.1%	69.1%
50～54	32.5%	31.0%	64.4%
55～59	29.4%	25.3%	55.8%
60～64	18.4%	15.8%	34.7%



資料:平成17年国勢調査

3 ニーズ調査にみる子どもと子育ての状況

計画の策定にあたり、桶川市における子育ての実態と意義を把握し、計画の基礎資料とするため、就学前の子どもの保護者500人（回収239人）と小学生4年生までの子どもの保護者500人（回収254人）を対象に平成21年1月にニーズ調査を実施し回答を得たものです。

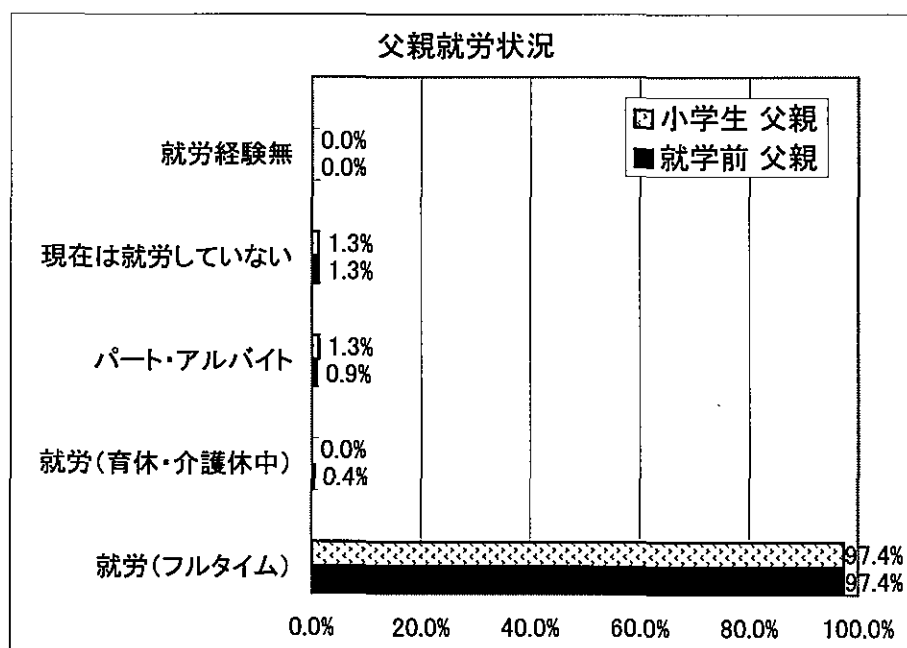
保護者の就労状況について

(1) 両親の就労状況

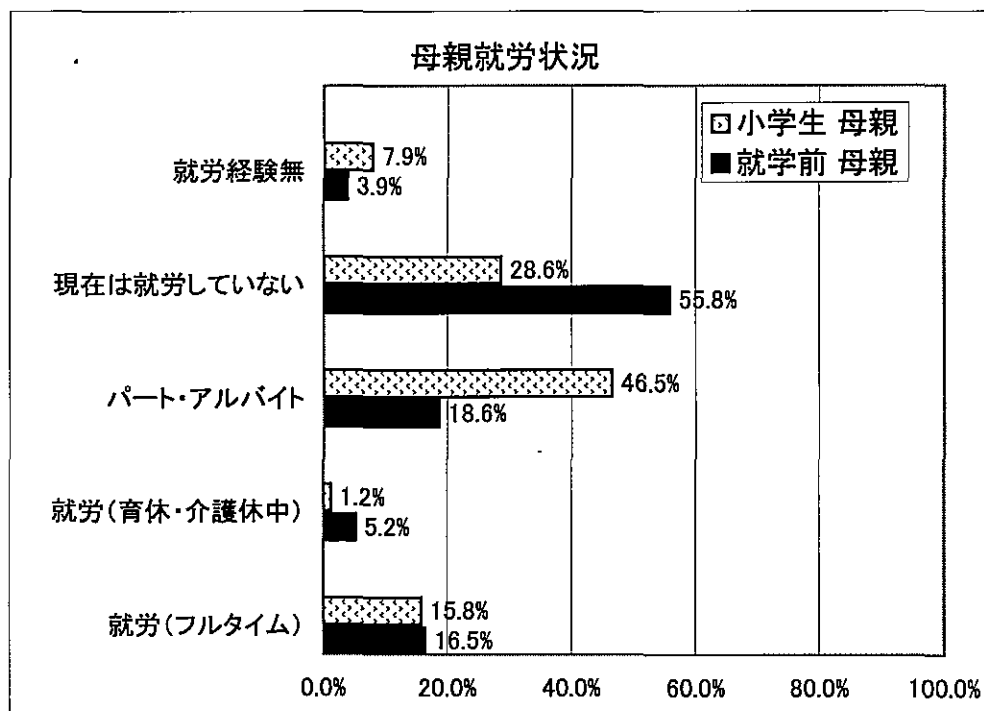
		就労(フルタイム)	就労(育休・介護休中)	パート・アルバイト	現在は就労していない	就労経験無
就学前	父親	97.4%	0.4%	0.9%	1.3%	0.0%
	母親	16.5%	5.2%	18.6%	55.8%	3.9%
小学生	父親	97.4%	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%
	母親	15.8%	1.2%	46.5%	28.6%	7.9%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

父親については、「就労(フルタイム)」が最も多く、就学前、小学生ともに97.4%となっていますが、「現在は就労していない」、「パート・アルバイト」、「育休・介護休中」の人も少人数いました。



母親については、就学前では「就労していない」が、55.8%と最も高い比率を示していますが、小学生の母親になると「就労していない」が、28.6%に減少して、「パート・アルバイト」が46.5%に増加しています。



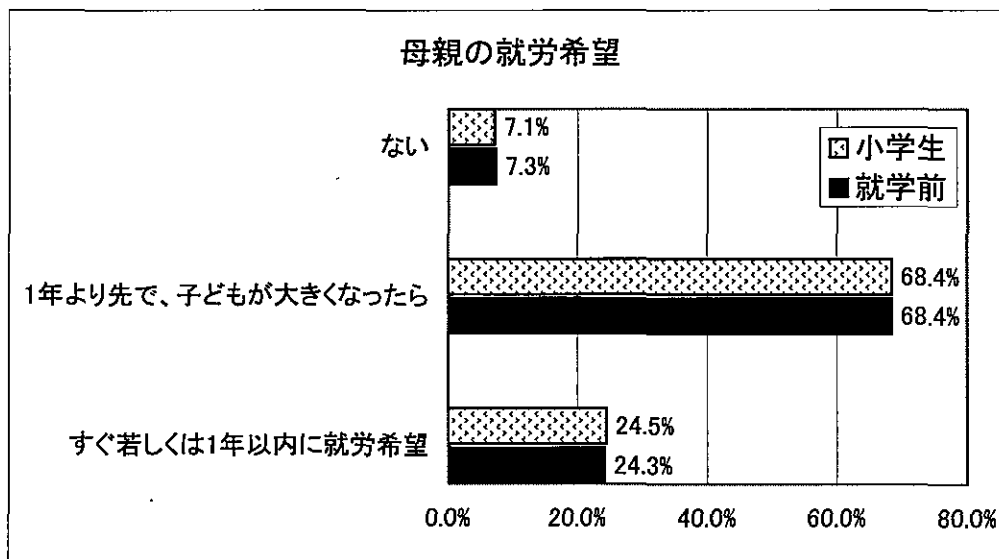
(2) 母親の就労希望

母親の今後の就労希望については、「ある」が、就学前で92.7%、小学生で92.9%と高い比率を示しています。

また、働く時期については、「1年より先で子どもが大きくなったら」が、就学前で68.4%、小学生で68.4%と高い比率を示しています。

	すぐ若しくは1年以内に就労希望	1年より先で、子どもが大きくなったら	ない
就学前	24.3%	68.4%	7.3%
小学生	24.5%	68.4%	7.1%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

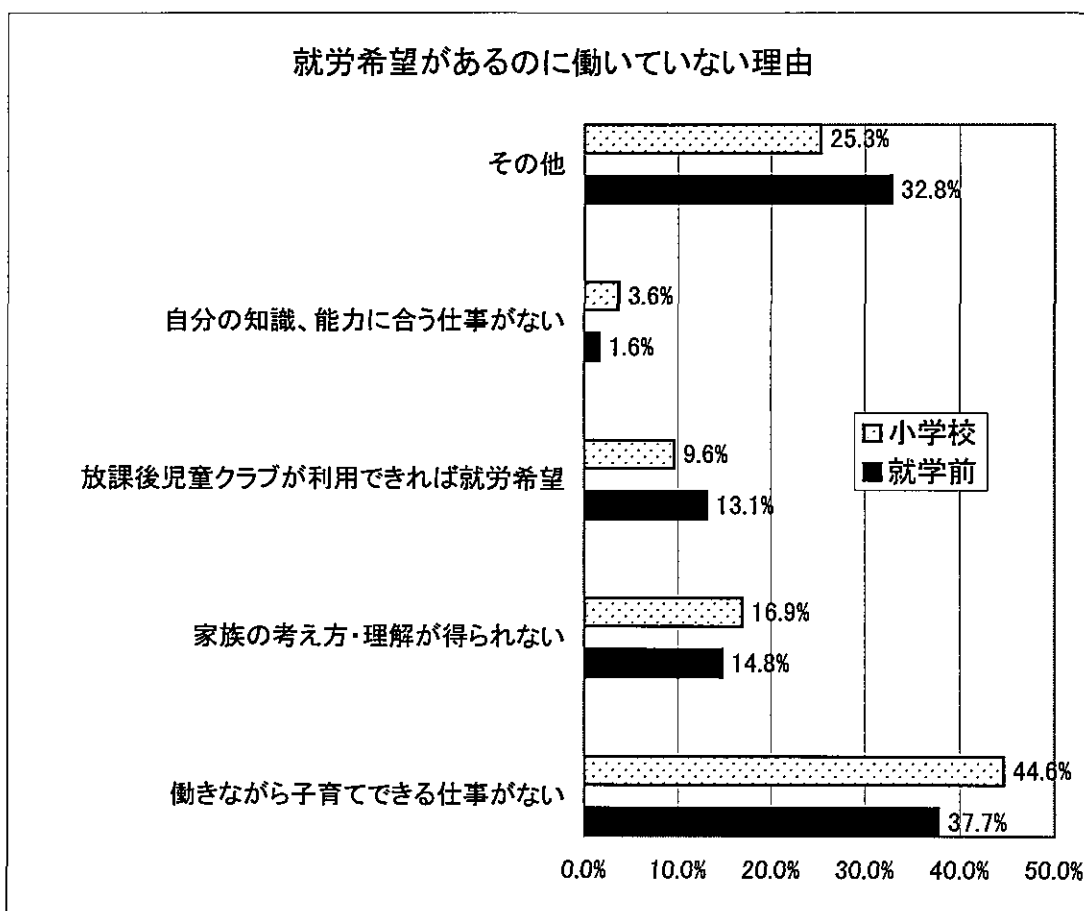


(3) 就労希望があるのに働いていない理由

就労希望があるのに働いていない理由としては、いくつかありますが、「働きながら子育てできる仕事がない」が、就学前で37.7%。小学生で44.6%と最も高い比率を示しています。

	働きながら子育てできる仕事がない	家族の考え方・理解が得られない	放課後児童クラブが利用できれば就労希望	自分の知識、能力に合う仕事がない	その他
就学前	37.7%	14.8%	13.1%	1.6%	32.8%
小学校	44.6%	16.9%	9.6%	3.6%	25.3%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



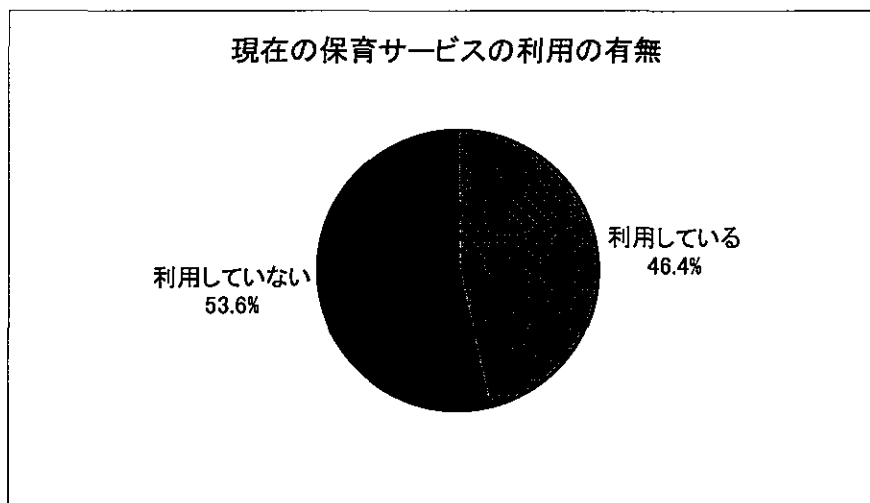
保育サービスの利用について

(1) 保育サービスの利用の有無(就学前)

就学前における保育サービスの利用の有無については、何らかの保育サービスを「利用している人」が46.4%で、半数近い利用率となっています。

利用している	46.4%
利用していない	53.6%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

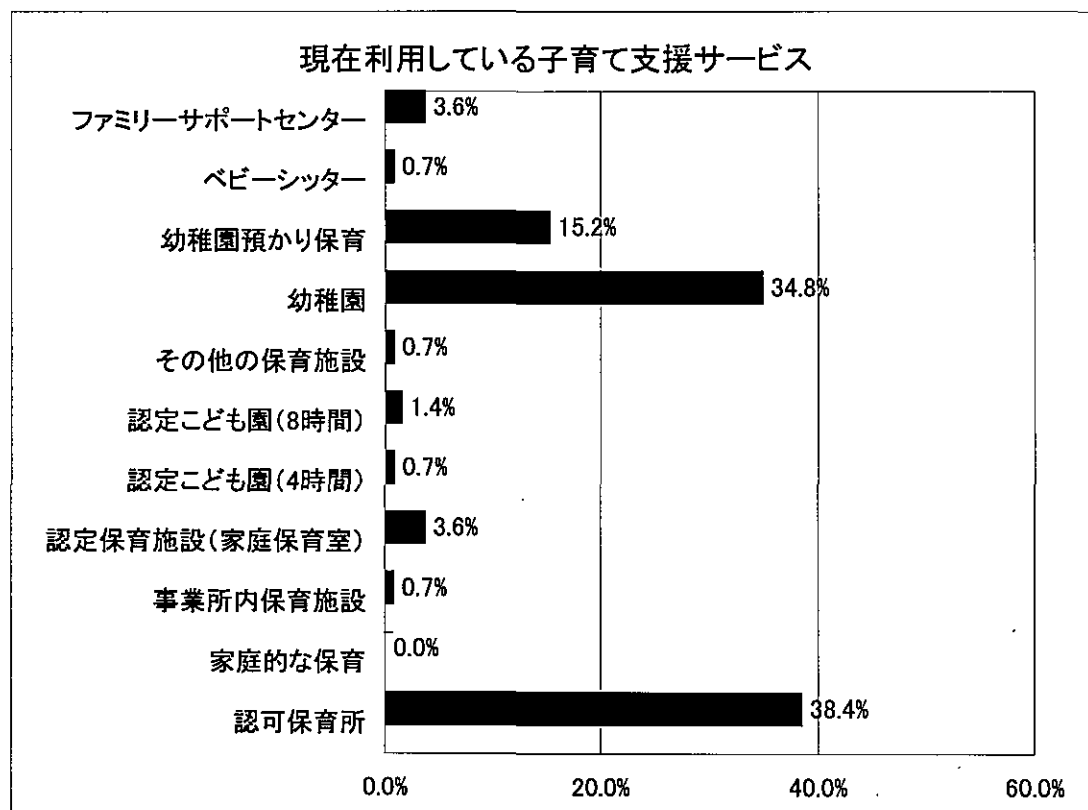


(2) 現在利用している子育て支援サービス

利用している子育て支援サービスについては、「認可保育所」が38.4%、「幼稚園」が34.8%と高い比率を示し、以下「幼稚園の預かり保育」が15.2%、「認定保育施設（家庭保育室）」及び「ファミリーサポートセンター」が3.6%となっています。

認可保育所	38.4%
家庭的な保育	0.0%
事業所内保育施設	0.7%
認定保育施設(家庭保育室)	3.6%
認定こども園(4時間)	0.7%
認定こども園(8時間)	1.4%
その他の保育施設	0.7%
幼稚園	34.8%
幼稚園預かり保育	15.2%
ベビーシッター	0.7%
ファミリーサポートセンター	3.6%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



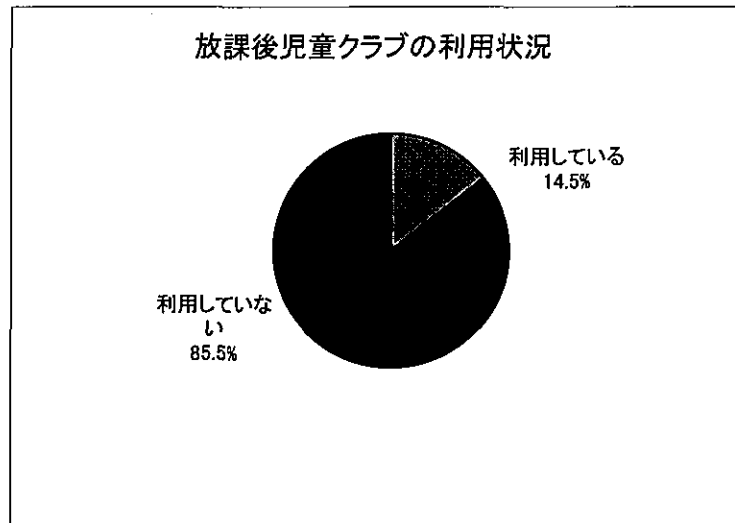
放課後児童クラブの利用について

(1) 放課後児童クラブ利用状況(小学生)

放課後児童クラブは、各小学校ごとに設置され、4年生までを対象としています
が、「利用している」人の率は14.5%となっています。

利用している	14.5%
利用していない	85.5%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



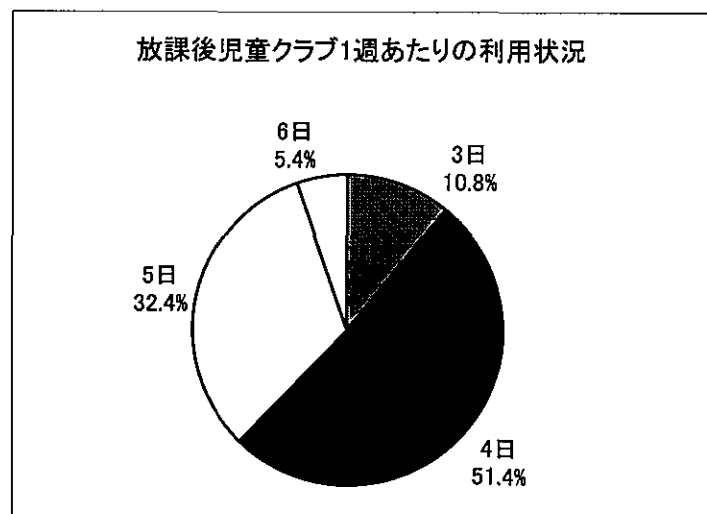
(2) 放課後児童クラブ1週当たりの利用状況

利用している児童の一週あたりの利用日数は、4日が最も多くて51.4%
を示し、その平均日数は4.8日となっています。

平均 4.8 日

3日	4日	5日	6日
10.8%	51.4%	32.4%	5.4%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

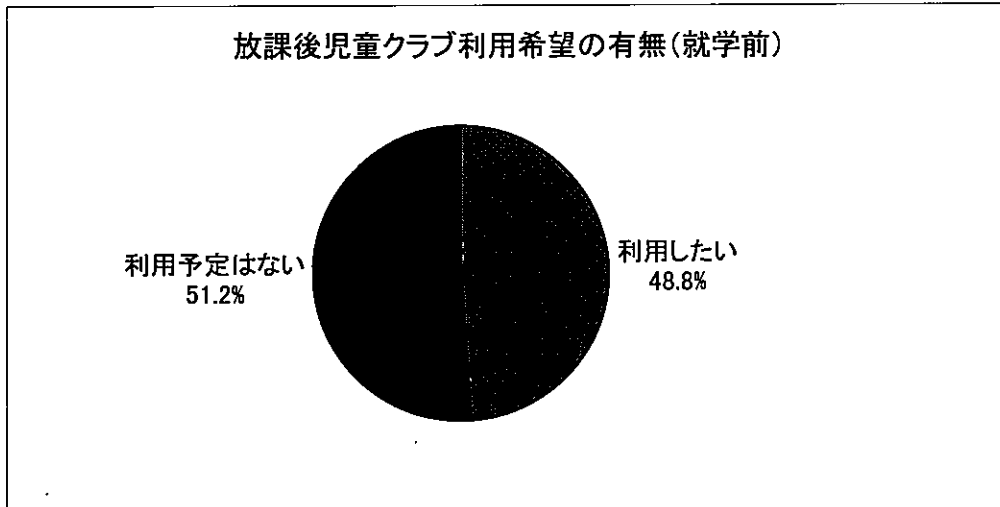


(3) 放課後児童クラブ利用希望の有無(就学前)

就学前の子どもを対象とした放課後児童クラブの利用希望については、「利用したい」が48.8%となっています。

利用したい	48.8%
利用予定はない	51.2%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

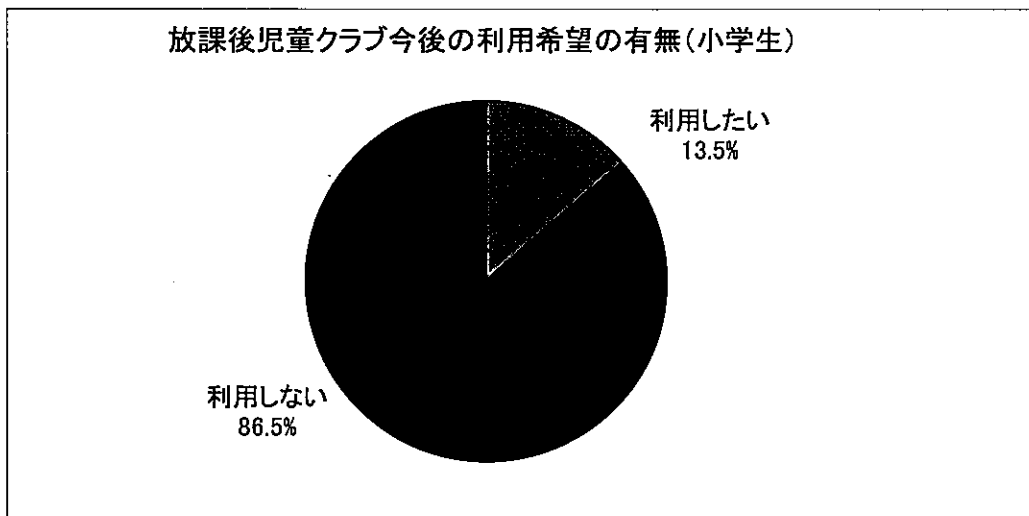


(4) 放課後児童クラブ今後の利用希望の有無(小学生)

現在、利用していない小学生を対象とした放課後児童クラブの利用希望については、今後「利用したい」が13.5%となっています。

利用したい	13.5%
利用しない	86.5%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



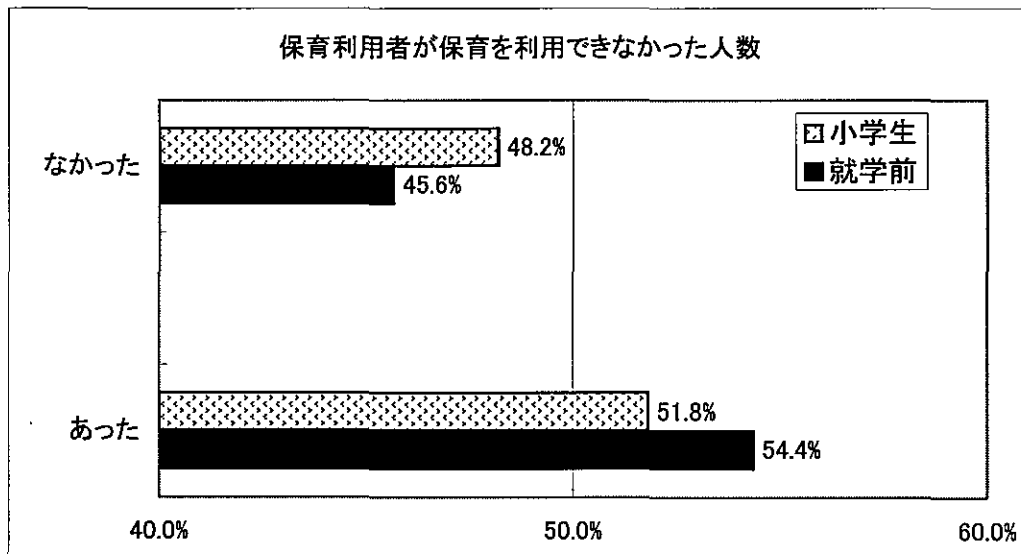
病児・病後児保育について

(1) 子どもの病気やケガで保育サービスが利用できなかった人

この一年間に子どもの病気やケガで、通常の保育サービスが利用できなかったについては、「あった」が就学前で54.4%、小学生で51.8%と過半数を超えています

	あった	なかった
就学前	54.4%	45.6%
小学生	51.8%	48.2%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

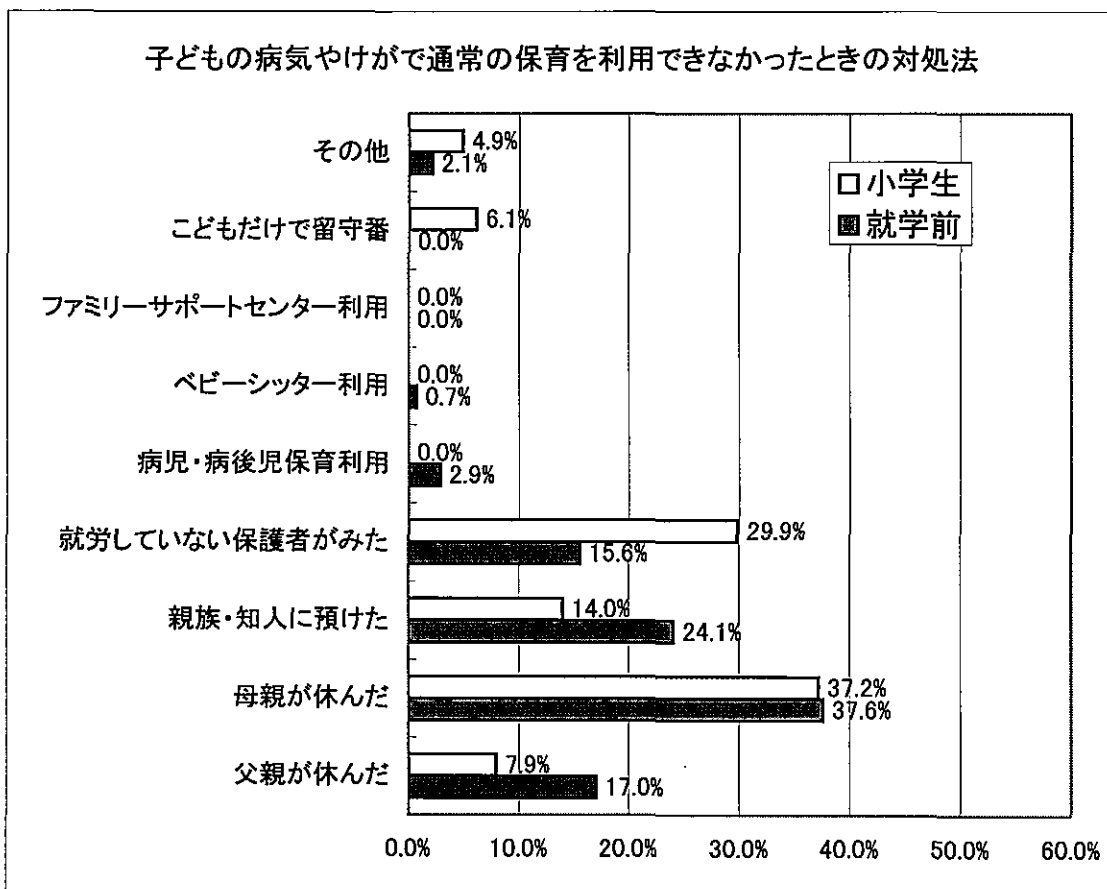


(2) 子どもの病気やけがで通常の保育を利用できなかった時にとった対処法

通常の保育サービスを利用できなかった時の対処法としては、「母親が休んだ」が最も多く、就学前で37.6%、小学生で37.2%となっています。次に、「親族・知人に預けた」、「父親が休んだ」、「就労していない保護者がみた」などで、「病児・病後児保育利用」については、就学前が2.9%、小学生が0.0%となっています。

	就学前	小学生
父親が休んだ	17.0%	7.9%
母親が休んだ	37.6%	37.2%
親族・知人に預けた	24.1%	14.0%
就労していない保護者がみた	15.6%	29.9%
病児・病後児保育利用	2.9%	0.0%
ベビーシッター利用	0.7%	0.0%
ファミリーサポートセンター利用	0.0%	0.0%
こどもだけで留守番	0.0%	6.1%
その他	2.1%	4.9%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



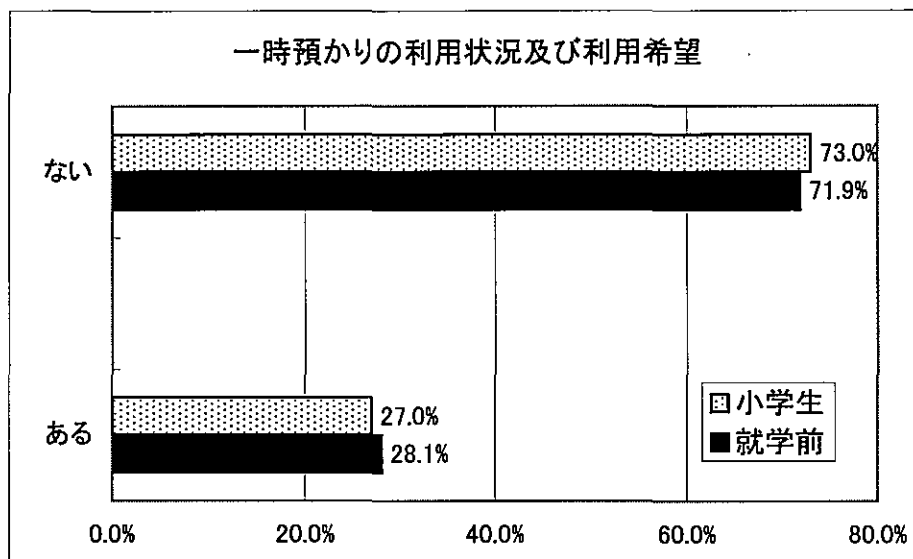
一時預かりの利用状況及び利用希望

(1) 一時預かりの利用状況

この一年間で一時預かりを利用したことが「ある」人は、就学前が28.1%、小学生が27.0%となっています。

	ある	ない
就学前	28.1%	71.9%
小学生	27.0%	73.0%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



(2) 年間の一時保育利用日数

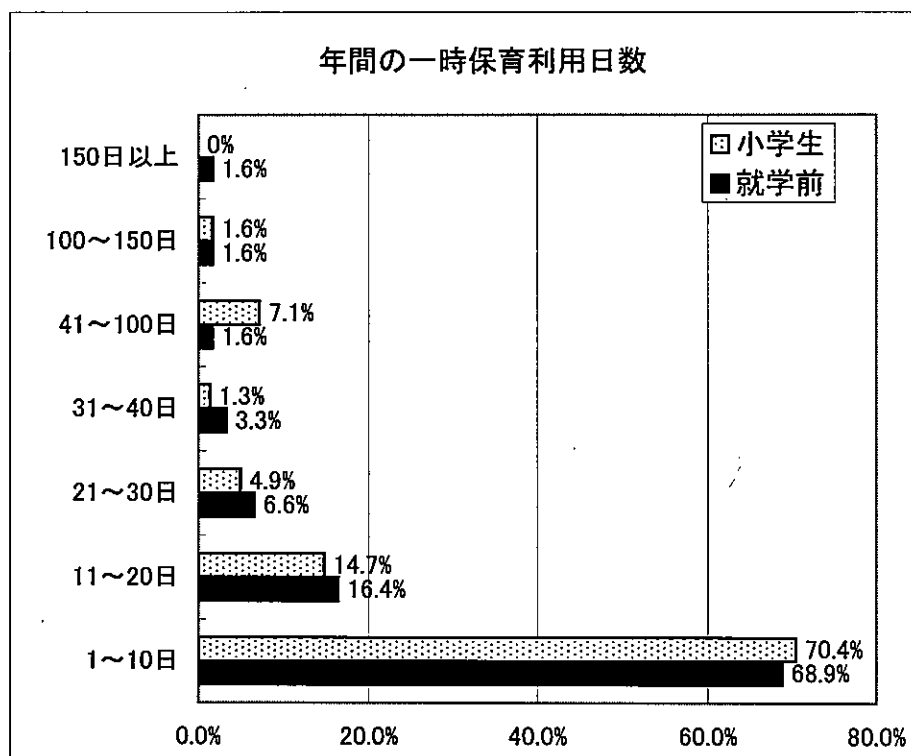
年間の利用日数については、「1～10日」が最も多く、就学前で68.9%、小学生で70.4%と高い比率を示し、平均の利用日数は、1年間当たり就学前が16.4日、小学生が15.3日となっています。

就学前平均 16.4 日/年

小学生平均 15.3 日/年

	就学前	小学生
1～10日	68.9%	70.4%
11～20日	16.4%	14.7%
21～30日	6.6%	4.9%
31～40日	3.3%	1.3%
41～100日	1.6%	7.1%
100～150日	1.6%	1.6%
150日以上	1.6%	0%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



(3) 一時預かりのひと月あたりの利用希望日数

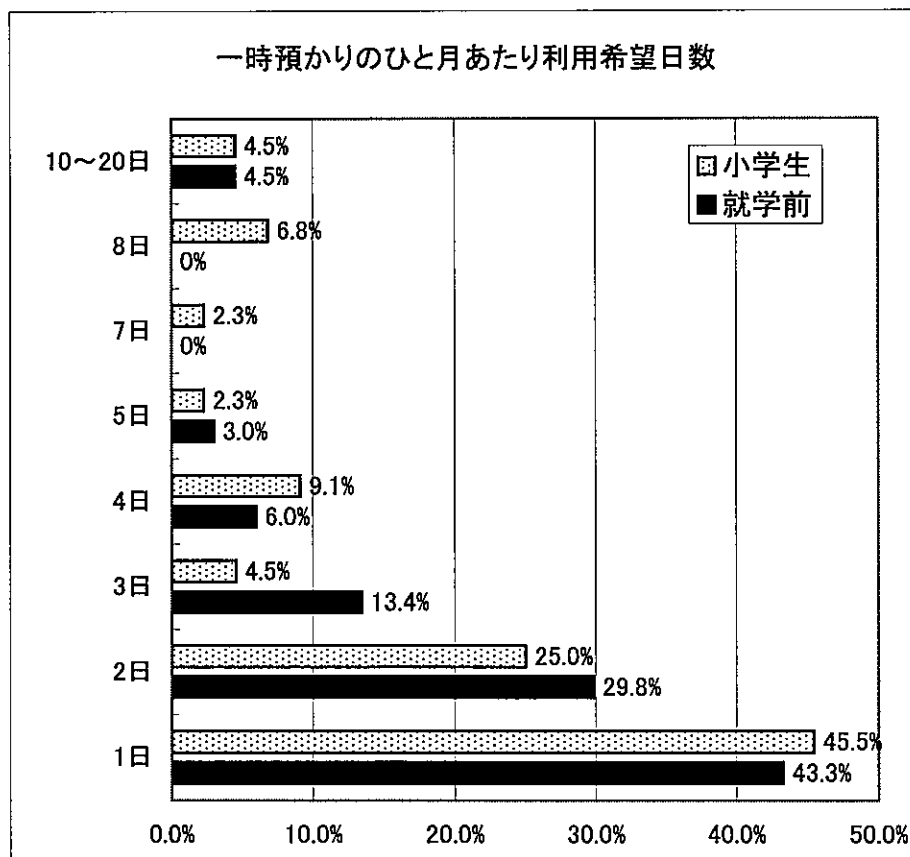
一時預かりのひと月あたりの利用希望日数については、就学前、小学生ともに1日が最も多く、それぞれ43.3%、45.5%となっています。以下、日数が増えるに従って利用希望率は減少しますが、「10～20日」を希望する人が4.5%となっています。

また、月平均については、小学生の3.0日に対し、就学前が8.4日と多くなっています。

利用希望日数 就学前 月平均 8.4日
小学生 月平均 3.0日

	1日	2日	3日	4日	5日	7日	8日	10～20日
就学前	43.3%	29.8%	13.4%	6.0%	3.0%	0%	0%	4.5%
小学生	45.5%	25.0%	4.5%	9.1%	2.3%	2.3%	6.8%	4.5%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



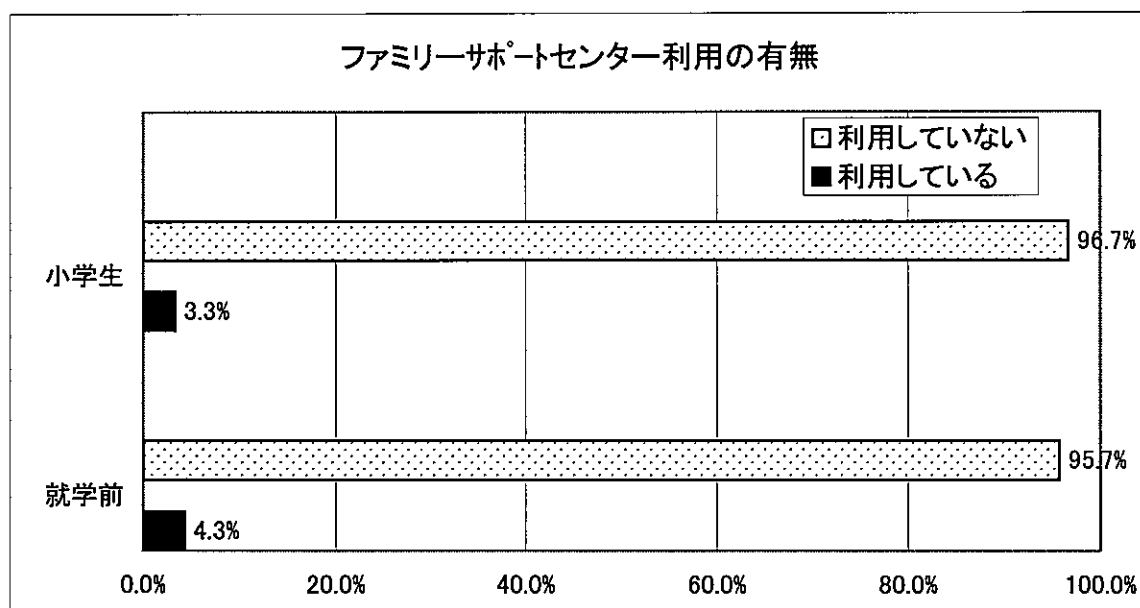
ファミリーサポートセンター利用状況及び利用希望

(1) ファミリーサポートセンター利用の有無

ファミリーサポートセンターの利用については、「利用している」が、就学前で4.3%、小学生で3.3%となり、利用率は低くなっています。

	就学前	小学生
利用している	4.3%	3.3%
利用していない	95.7%	96.7%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

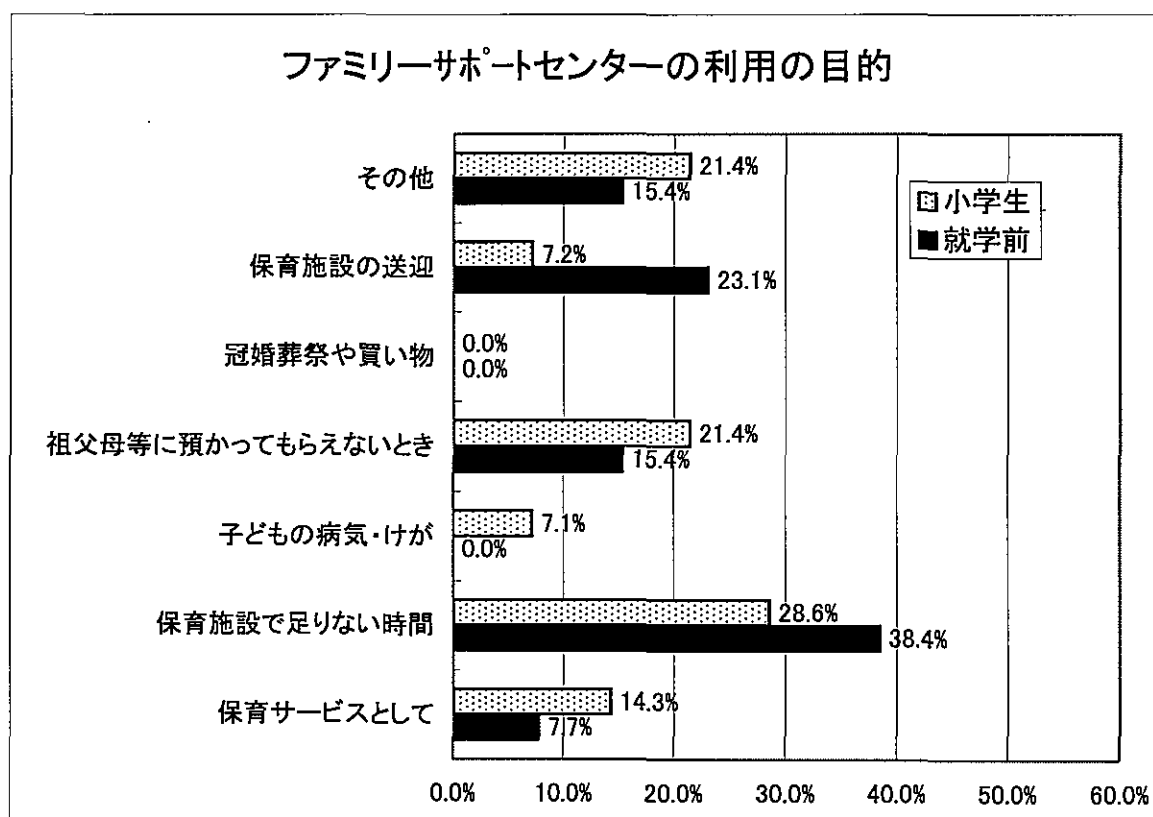


(2) ファミリーサポートセンター利用の目的

ファミリーサポートセンター利用の目的は、就学前、小学生ともに「保育施設で足りない時間」が最も高い比率を示し、就学前で38.4%、小学生で28.6%となっています。

	就学前	小学生
保育サービスとして	7.7%	14.3%
保育施設で足りない時間	38.4%	28.6%
子どもの病気・けが	0.0%	7.1%
祖父母等に預かってもらえないとき	15.4%	21.4%
冠婚葬祭や買い物	0.0%	0.0%
保育施設の送迎	23.1%	7.2%
その他	15.4%	21.4%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



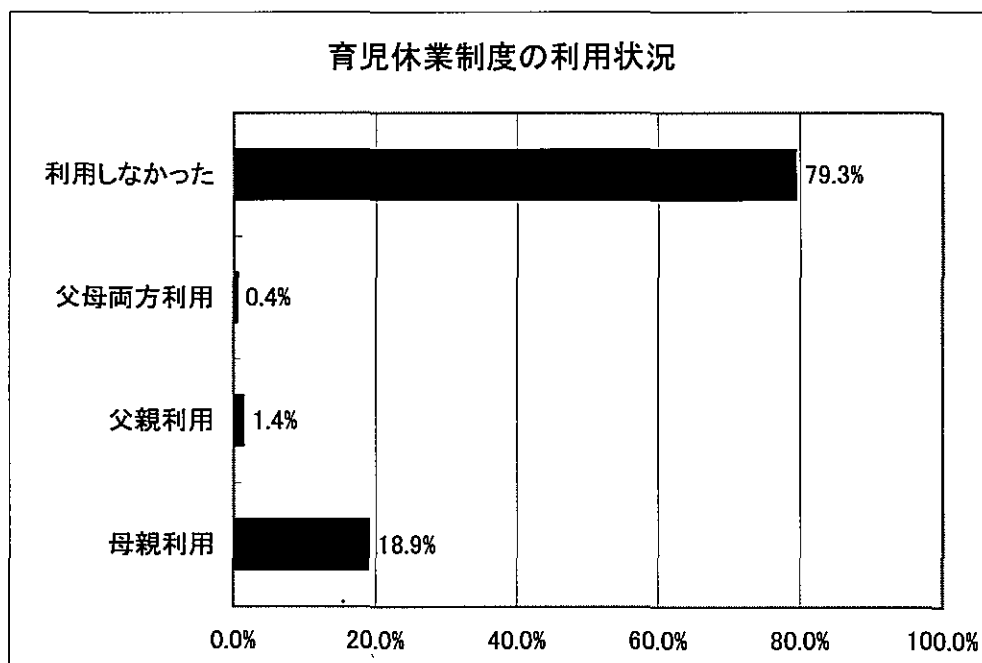
育児休業制度について

(1) 育児休業制度の利用状況

「利用した人」の内訳については、母親が18.9%、父親が1.4%、父母両方利用が0.4%となっていますが、「利用しなかった」人が79.3%いました。

母親利用	18.9%
父親利用	1.4%
父母両方利用	0.4%
利用しなかった	79.3%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

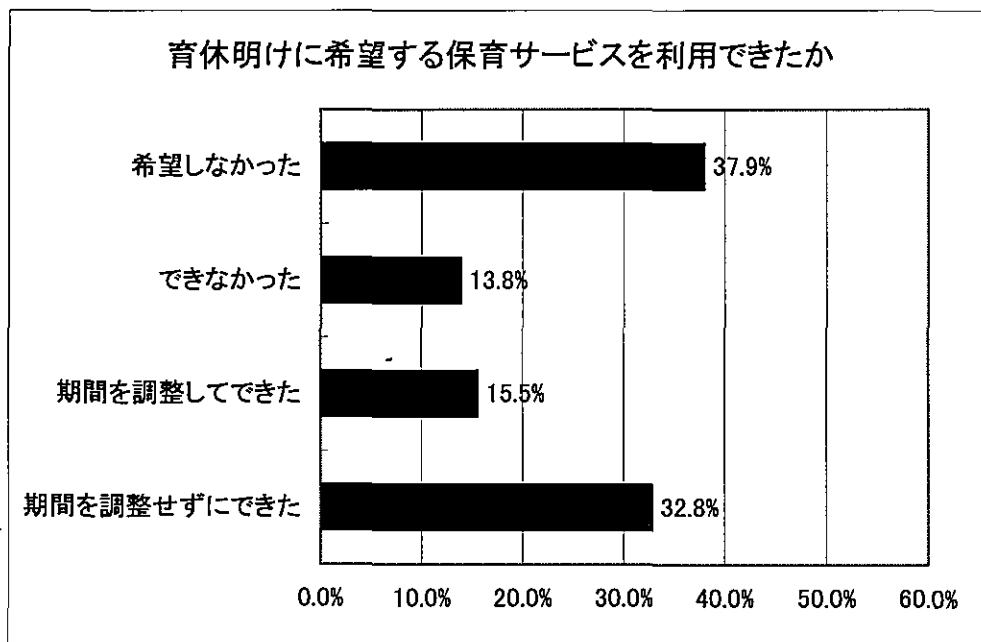


(2) 育児休業明けに希望する保育サービスを利用できたか

育児休業明けの保育サービスの利用については、「できた」人（期間を調整してできた人を含め）が48.3%、「できなかった」人が13.8%、「希望しなかった」人が37.9%となっています。

期間を調整せずにできた	32.8%
期間を調整してできた	15.5%
できなかった	13.8%
希望しなかった	37.9%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

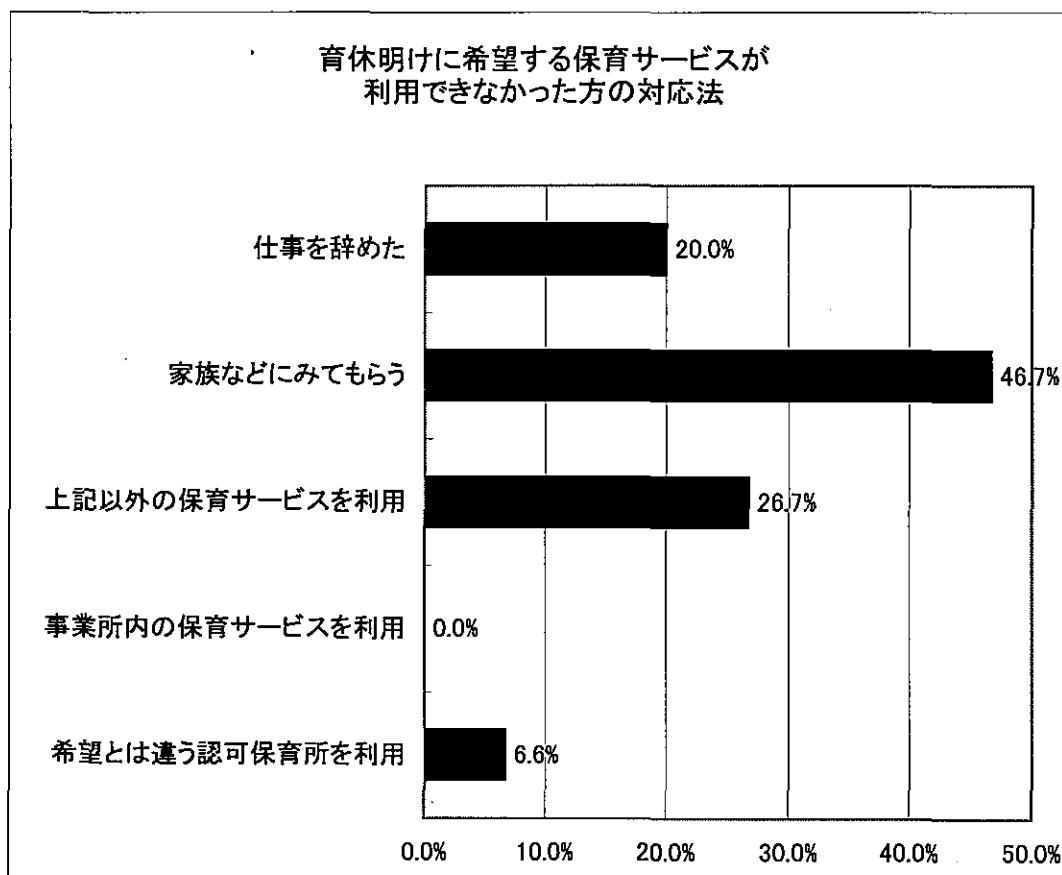


(3) 育児休業明けに希望する保育サービスが利用できなかった方の対応法

利用できなかった人の対応法としては、「家族などにみてもらう」が最も多く46.7%となり、次いで、「他の保育サービスを利用」が26.7%、「仕事を辞めた」が20.0%の順となっています。

希望とは違う認可保育所を利用	6.6%
事業所内の保育サービスを利用	0.0%
上記以外の保育サービスを利用	26.7%
家族などにみてもらう	46.7%
仕事を辞めた	20.0%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



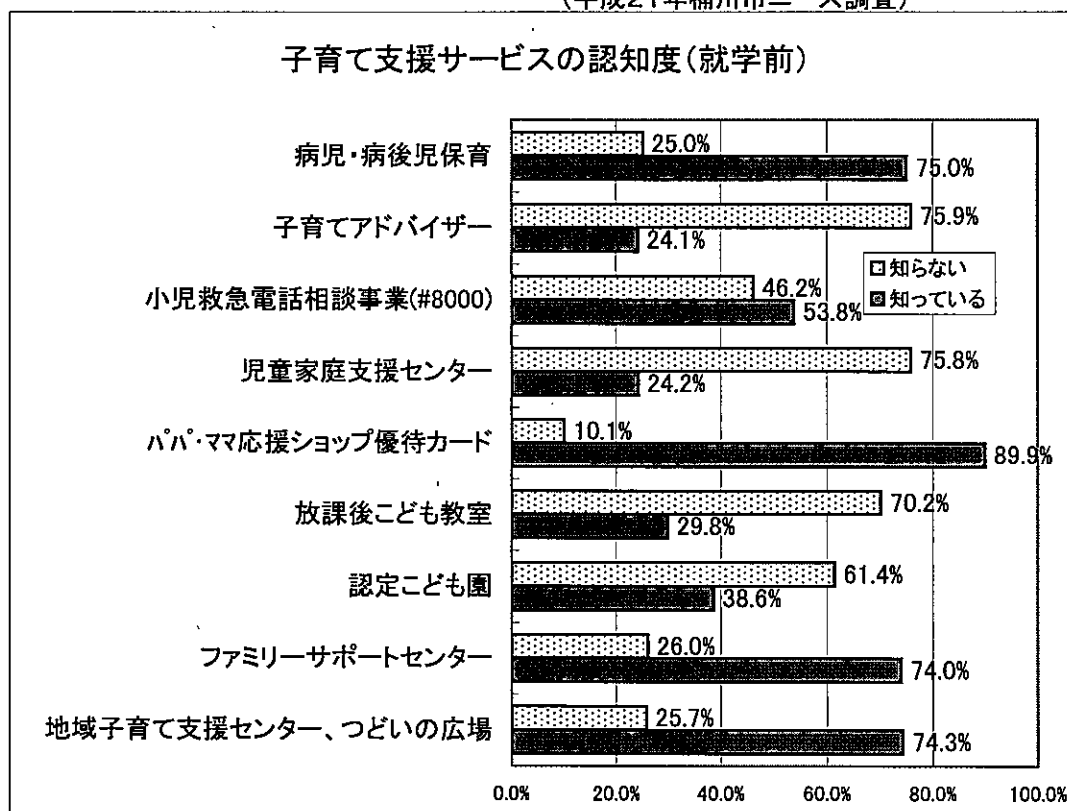
子育て支援サービスの認知度・利用度・満足度

(1)一① 子育て支援サービスの認知度(就学前)

就学前の子育て支援サービスの認知度については、「パパ・ママ応援ショップ優待カード」が89.9%、「病児・病後児保育」が75.0%、「地域子育て支援センター・つどいの広場」が74.3%、「ファミリーサポートセンター」が74.0%と高い比率を示していますが、逆に「児童家庭支援センター」が24.2%、「子育てアドバイザー」が24.1%、「放課後こども教室」が29.8%と低い比率となっています。

	知っている	知らない
地域子育て支援センター、つどいの広場	74.3%	25.7%
ファミリーサポートセンター	74.0%	26.0%
認定こども園	38.6%	61.4%
放課後こども教室	29.8%	70.2%
パパ・ママ応援ショップ優待カード	89.9%	10.1%
児童家庭支援センター	24.2%	75.8%
小児救急電話相談事業(#8000)	53.8%	46.2%
子育てアドバイザー	24.1%	75.9%
病児・病後児保育	75.0%	25.0%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

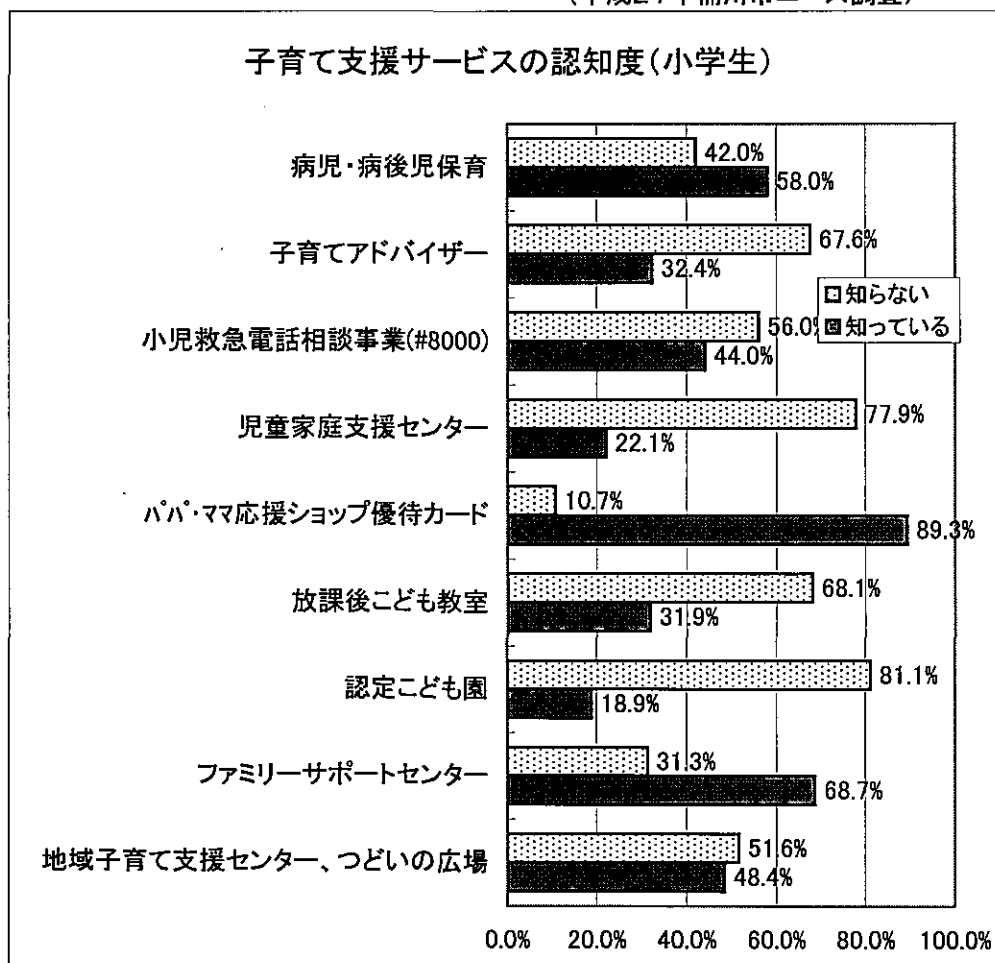


(1)ー② 子育て支援サービスの認知度(小学生)

小学生の子育て支援サービスの認知度については、「パパ・ママ応援ショップ優待カード」が89.3%、「ファミリーサポートセンター」が68.7%と高い比率を示していますが、逆に「認定こども園」が18.9%、「児童家庭支援センター」が22.1%と低い比率になっています。

	知っている	知らない
地域子育て支援センター、つどいの広場	48.4%	51.6%
ファミリーサポートセンター	68.7%	31.3%
認定こども園	18.9%	81.1%
放課後こども教室	31.9%	68.1%
パパ・ママ応援ショップ優待カード	89.3%	10.7%
児童家庭支援センター	22.1%	77.9%
小児救急電話相談事業(#8000)	44.0%	56.0%
子育てアドバイザー	32.4%	67.6%
病児・病後児保育	58.0%	42.0%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



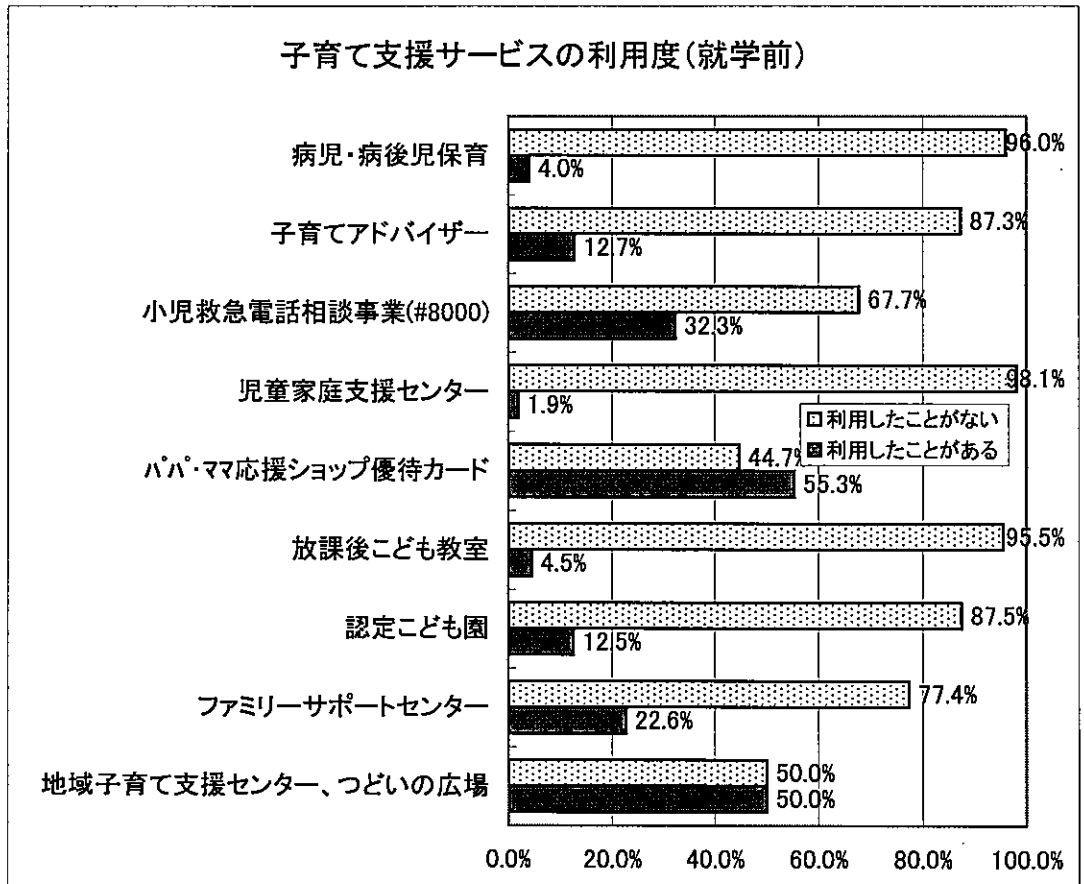
(2)―① 子育てサービスの利用度(就学前)

就学前の子育てサービスの利用度については、利用したことがあると答えた人の中で最も高い比率は、「パパ・ママ応援ショップ優待カード」が55.3%、次いで「地域子育て支援センター・つどいの広場」が50.0%となっています。

また、逆に利用度が低いのは、「児童家庭支援センター」が1.9%、「病児・病後児保育」が4.0%、「放課後こども教室」が4.5%となっています。

	利用したことがある	利用したことがない
地域子育て支援センター、つどいの広場	50.0%	50.0%
ファミリーサポートセンター	22.6%	77.4%
認定こども園	12.5%	87.5%
放課後こども教室	4.5%	95.5%
パパ・ママ応援ショップ優待カード	55.3%	44.7%
児童家庭支援センター	1.9%	98.1%
小児救急電話相談事業(#8000)	32.3%	67.7%
子育てアドバイザー	12.7%	87.3%
病児・病後児保育	4.0%	96.0%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



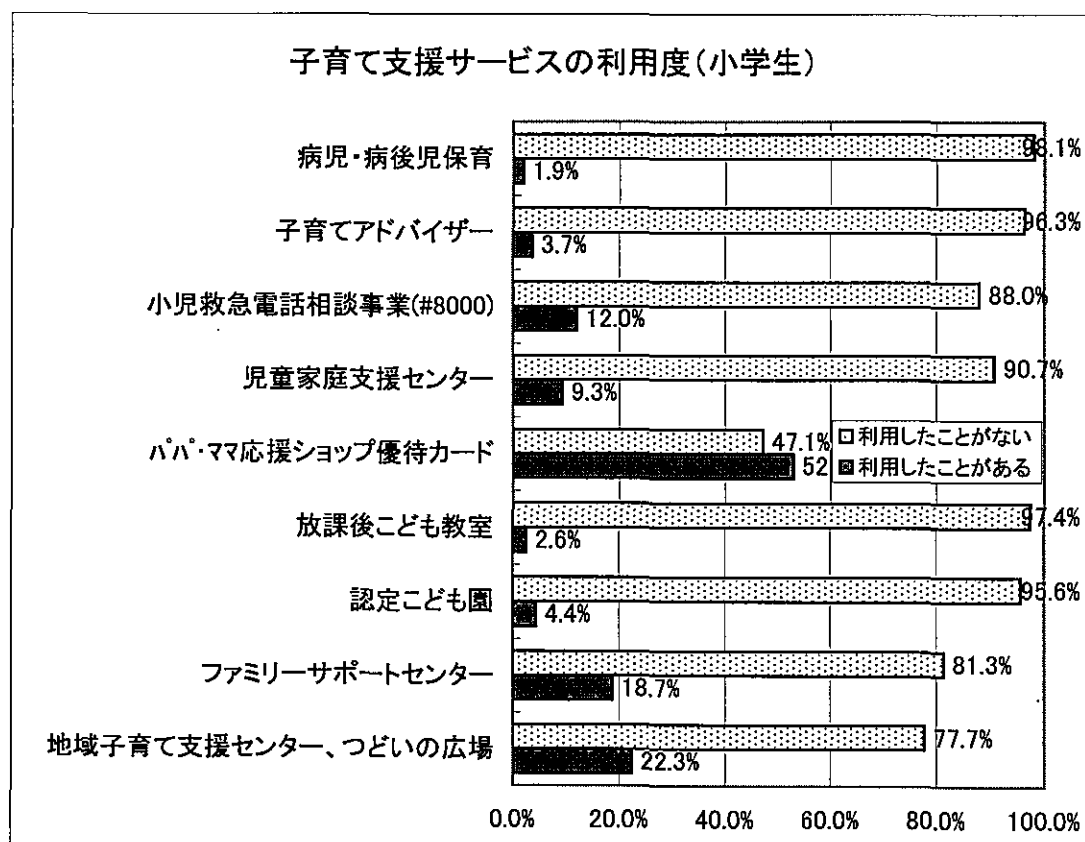
(2)－② 子育てサービスの利用度(小学生)

小学生の子育てサービスの利用度については、利用したことがあると答えた人の中で最も高い比率は、就学前同様「パパ・ママ応援ショップ優待カード」が52.9%となっていますが、就学前において50.0%であった「地域子育て支援センター・つどいの広場」は、22.3%と減少しています。

また、利用度が低いのは、「病児・病後児保育」が1.9%、「放課後こども教室」が2.6%、「子育てアドバイザー」が3.7%となっています。

	利用したことがある	利用したことがない
地域子育て支援センター、つどいの広場	22.3%	77.7%
ファミリーサポートセンター	18.7%	81.3%
認定こども園	4.4%	95.6%
放課後こども教室	2.6%	97.4%
パパ・ママ応援ショップ優待カード	52.9%	47.1%
児童家庭支援センター	9.3%	90.7%
小児救急電話相談事業(#8000)	12.0%	88.0%
子育てアドバイザー	3.7%	96.3%
病児・病後児保育	1.9%	98.1%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



子育ての実態と希望

(1)―① 自分の家事育児に関する満足度(就学前)

父親

自分の家事・育児に関する満足度は、就学前の父親が、家事については、「満足」が20.5%、「やや満足」が29.3%、両者を合わせると49.8%となり、約半数の人が満足となっています。

また、育児については、「満足」が21.3%、「やや満足」が37.9%、両者を合わせると59.2%となり、家事の49.8%を上回っています。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
家事	20.5%	29.3%	36.1%	9.2%	4.9%
育児	21.3%	37.9%	24.3%	12.6%	3.9%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

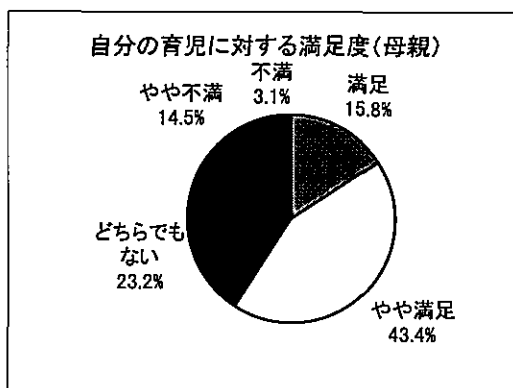
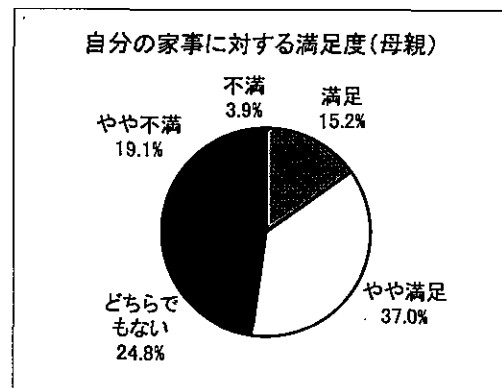
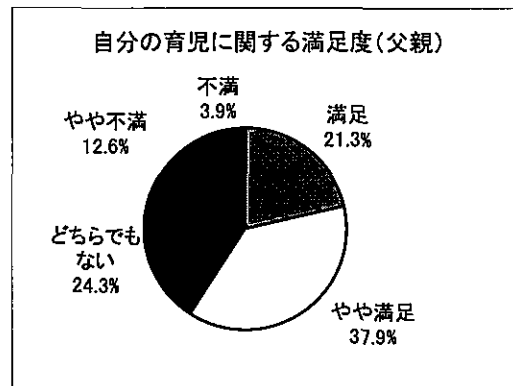
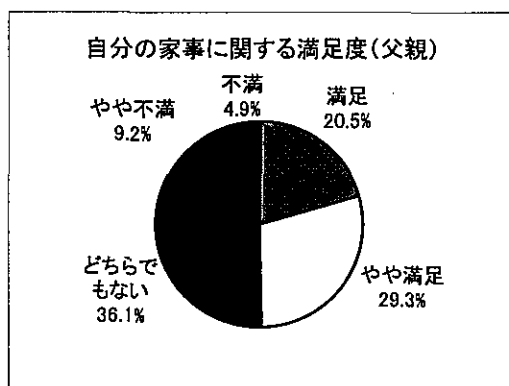
母親

就学前の母親の家事については、「満足」が15.2%、「やや満足」が37.0%、両者を合わせると52.2%となっています。

また、育児については、「満足」が15.8%、「やや満足」が43.4%、両者を合わせると59.2%となり、父親と同じ数値となっています。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
家事	15.2%	37.0%	24.8%	19.1%	3.9%
育児	15.8%	43.4%	23.2%	14.5%	3.1%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



(1)一② 自分の家事育児に関する満足度(小学生)

父親

小学生の父親の家事については、「満足」が20.4%、「やや満足」が24.1%、両者を合わせると44.5%となっています。

また、育児については、「満足」が19.6%、「やや満足」が36.9%、両者を合わせると56.5%となり、家事の44.5%を上回っています。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
家事	20.4%	24.1%	38.4%	14.3%	2.8%
育児	19.6%	36.9%	29.9%	12.2%	1.4%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

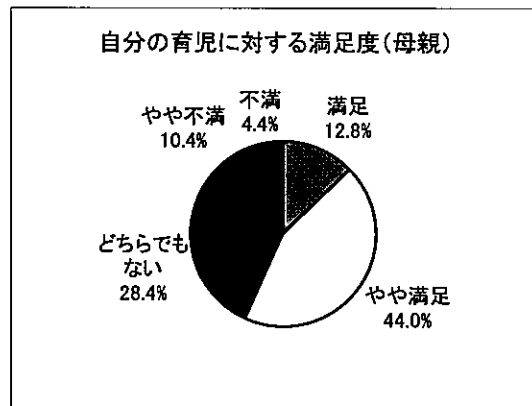
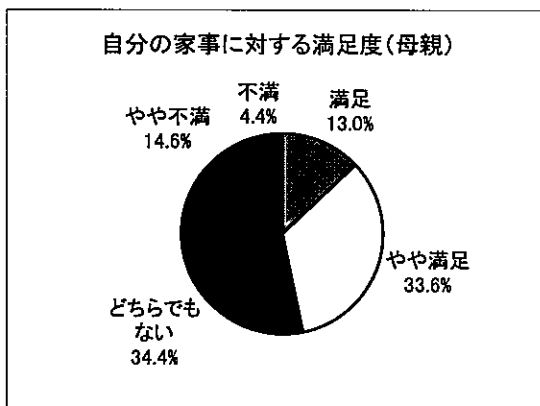
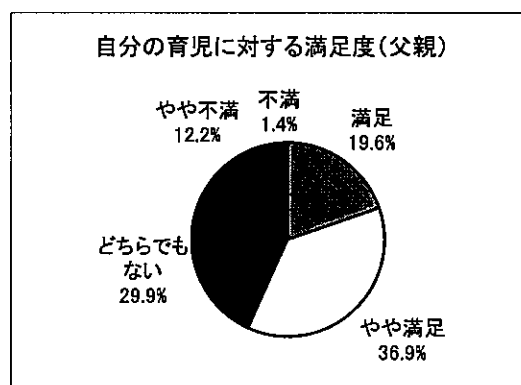
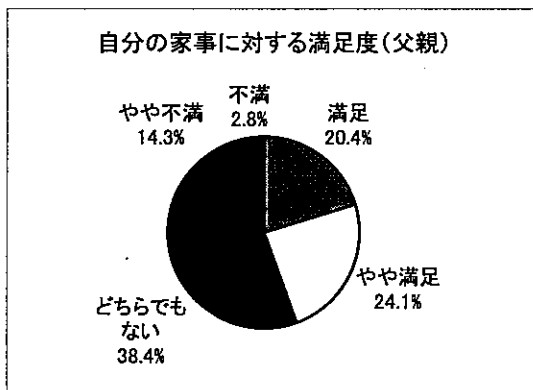
母親

小学生の母親の家事については、「満足」が13.0%、「やや満足」が33.6%、両者を合わせると46.6%となっています。

また、育児については、「満足」が12.8%、「やや満足」が44.0%、両者を合わせると56.8%となり、父親とほぼ同じ数値となっています。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
家事	13.0%	33.6%	34.4%	14.6%	4.4%
育児	12.8%	44.0%	28.4%	10.4%	4.4%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



(2)―① 配偶者の家事育児に関する満足度(就学前)

母親→父親

配偶者の家事育児に関する満足度は、就学前の母親から父親を見た場合、家事については、「満足」が24.9%、「やや満足」が30.3%、両者を合わせると55.2%となっています。

また、育児については、「満足」が27.5%、「やや満足」が37.4%、両者を合わせると64.9%となり、家事の55.2%を上回っています。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
家事	24.9%	30.3%	24.0%	16.3%	4.5%
育児	27.5%	37.4%	18.9%	13.0%	3.2%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

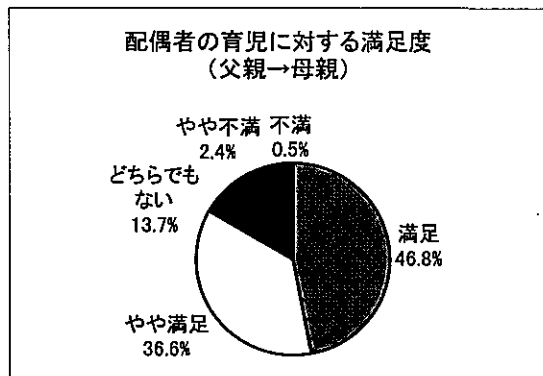
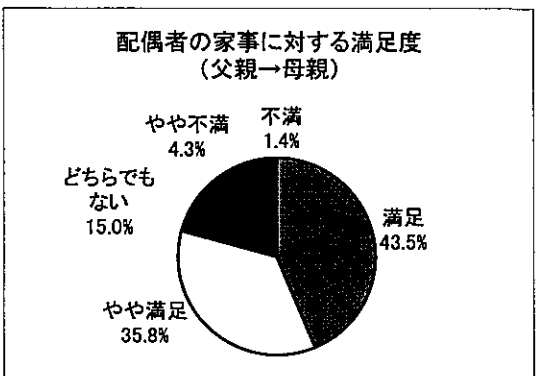
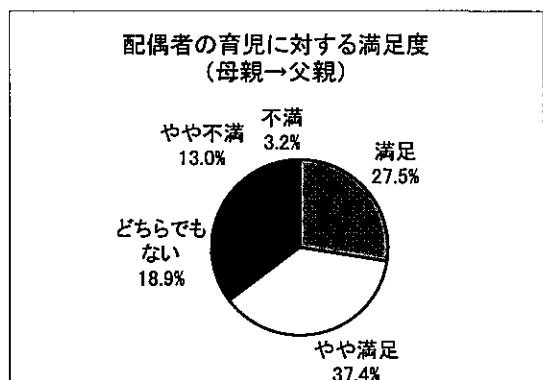
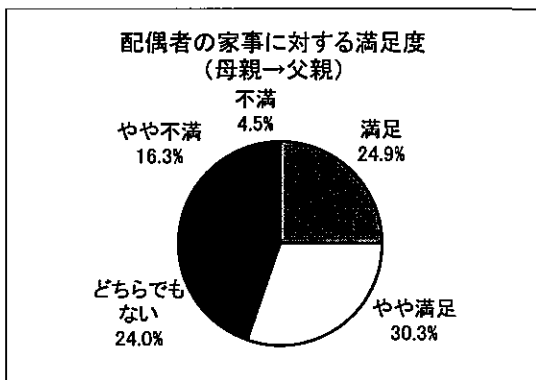
父親→母親

父親から母親を見た場合、家事については、「満足」が43.5%、「やや満足」が35.8%、両者を合わせると79.3%となり、母親から父親を見た場合の55.2%を上回っています。

また、育児については、「満足」が46.8%、「やや満足」が36.6%、両者を合わせると83.4%となり、家事同様、母親から父親を見た場合の64.9%を上回っています。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
家事	43.5%	35.8%	15.0%	4.3%	1.4%
育児	46.8%	36.6%	13.7%	2.4%	0.5%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



(2)一② 配偶者の家事育児に関する満足度(小学生)

母親→父親

小学生の母親から父親を見た場合、家事については、「満足」が21.1%、「やや満足」が25.4%、両者を合わせると46.5%となっています。

また、育児については、「満足」が23.4%、「やや満足」が35.7%、両者を合わせると59.1%となり、家事の満足度を上回っています。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
家事	21.1%	25.4%	21.9%	21.5%	10.1%
育児	23.4%	35.7%	17.6%	17.6%	5.7%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

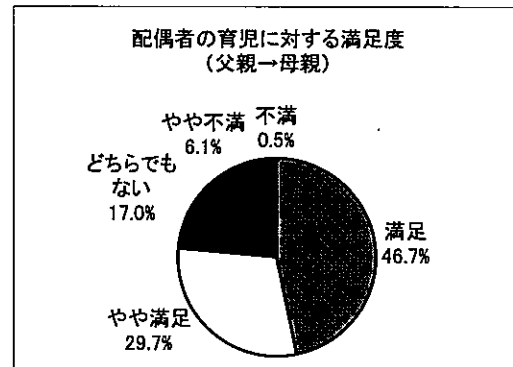
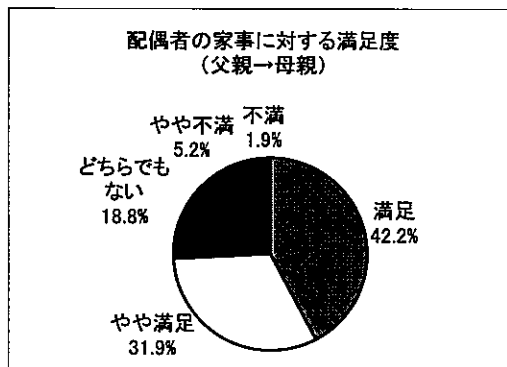
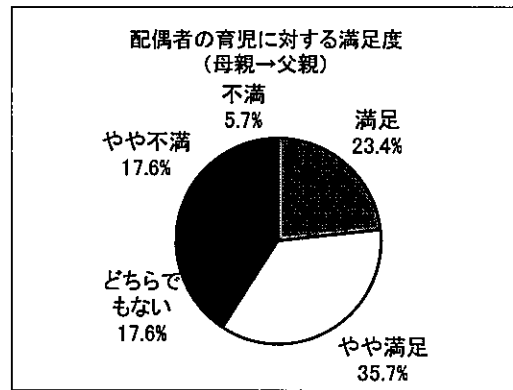
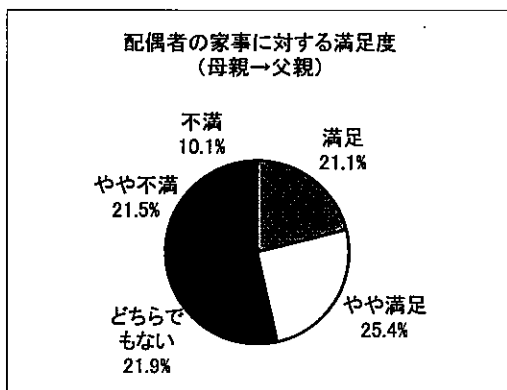
父親→母親

小学生の父親から母親を見た場合、家事については、「満足」が42.2%、「やや満足」が31.9%、両者を合わせると74.1%となり、母親から父親を見た場合の46.5%を大きく上回っています。

また、育児については、「満足」が46.7%、「やや満足」が29.7%、両者を合わせると76.4%となり、家事同様、母親から父親を見た場合の59.1%を大きく上回っています。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
家事	42.2%	31.9%	18.8%	5.2%	1.9%
育児	46.7%	29.7%	17.0%	6.1%	0.5%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



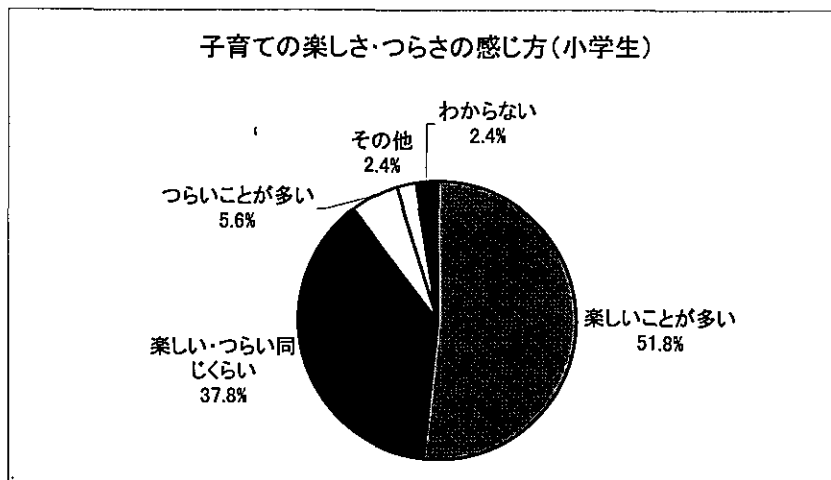
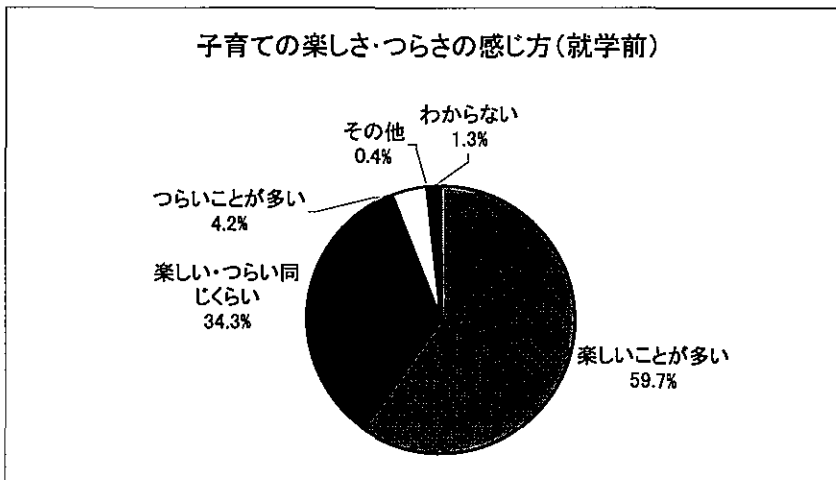
(3) 子育ての楽しさ・つらさの感じ方の状況

就学前の子育ての感じ方については、「楽しいと感じることの方が多い」が59.8%、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が34.3%、「辛いと感じることの方が多い」が4.2%の順となっています。

また、小学生の子育ての感じ方については、ほぼ就学前と同様で、「楽しいと感じることの方が多い」が51.8%、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が37.8%、「辛いと感じることが多い」が5.6%となっています。

	就学前	小学生
楽しいことが多い	59.8%	51.8%
楽しい・つらい同じくらい	34.3%	37.8%
つらいことが多い	4.2%	5.6%
その他	0.4%	2.4%
わからない	1.3%	2.4%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

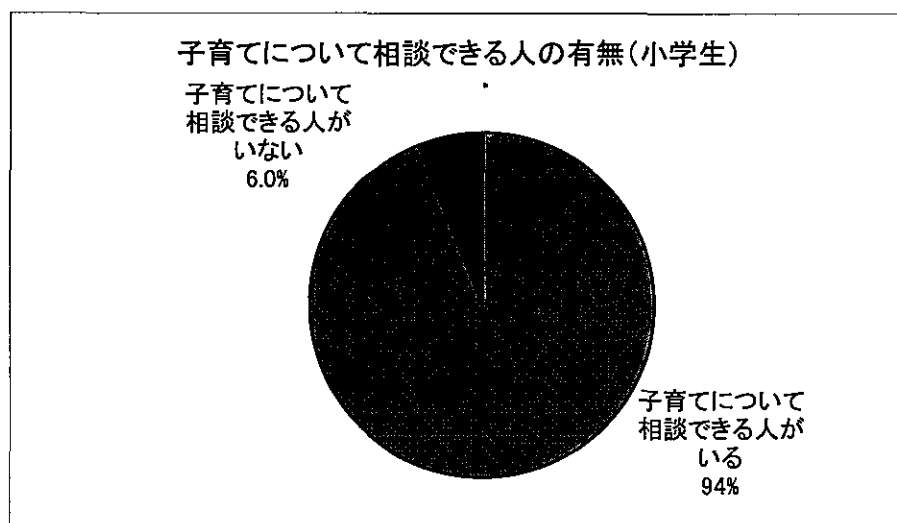
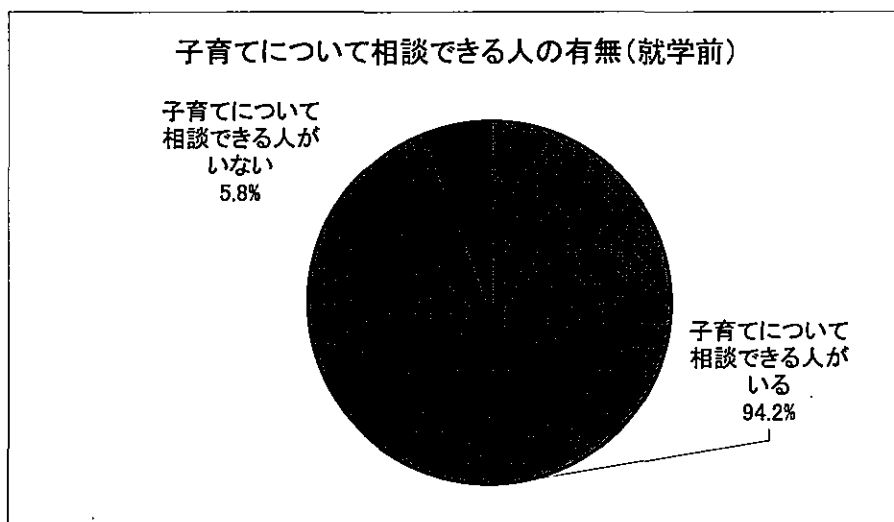


(4) 子育てについて相談できる人の有無

子育てについて相談できる人の有無については、「相談できる人がいる」が、就学前においては94.2%、小学生において94.0%となり、ほとんどの方がいると答えています。

	就学前	小学生
子育てについて相談できる人がいる	94.2%	94.0%
子育てについて相談できる人がいない	5.8%	6.0%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



(5) 子育てに関して日常悩んでいること・気になること

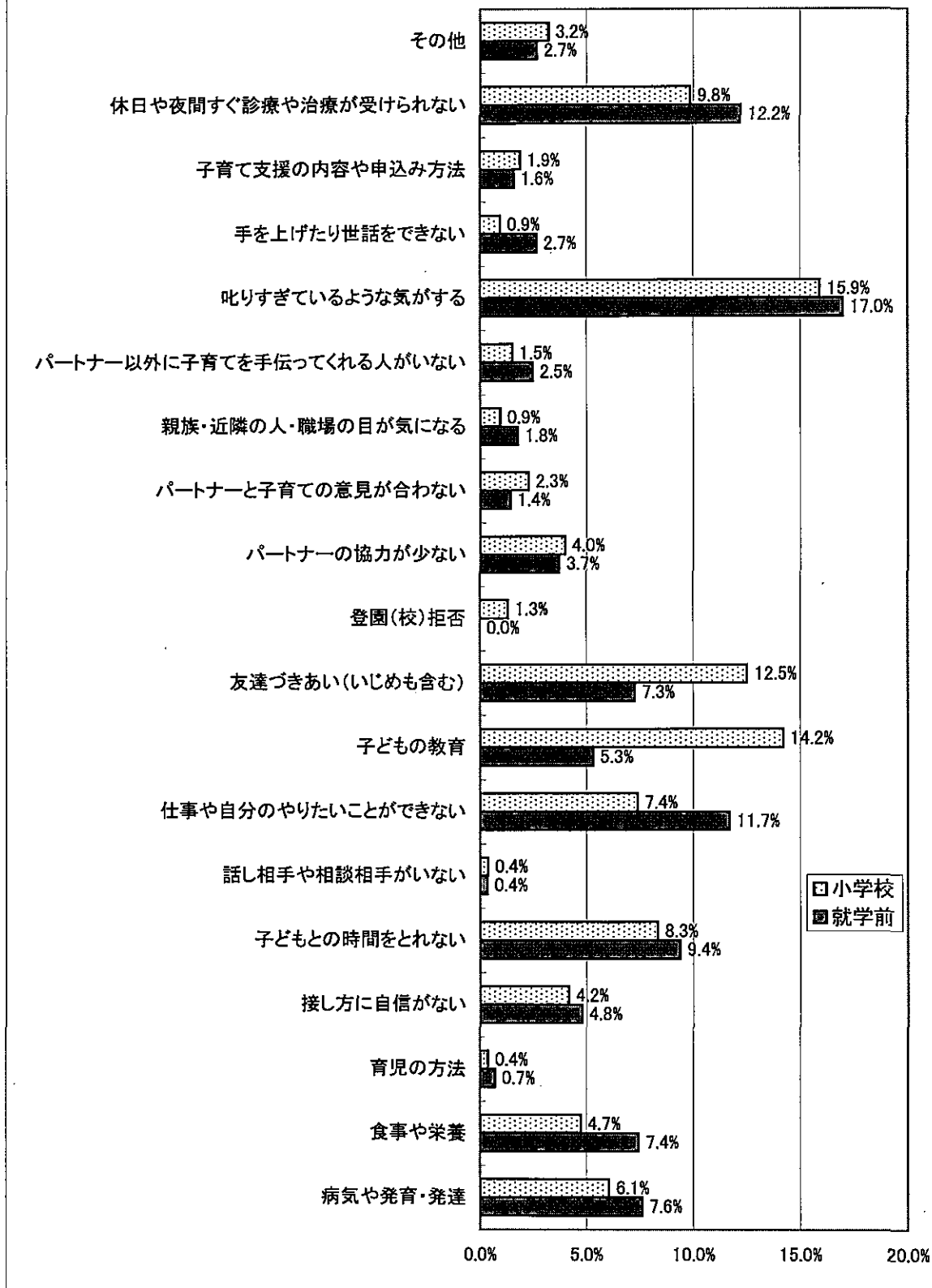
子育てに関して日常悩んでいること・気になることはどのようなことですか？という問いに対し、就学前においては、「叱りすぎているような気がする」が17.0%、次いで「休日や夜間すぐ診療や治療が受けられない」が12.2%、「仕事や自分のやりたいことができない」が11.7%となっています。

また、小学生においては、「叱りすぎているような気がする」が15.9%、次いで「子どもの教育」が14.2%、「友達づきあい(いじめも含む)」が12.5%となり、就学前・小学生ともに、「叱りすぎている気がする」が最も高率となっています。

	就学前	小学校
病気や発育・発達	7.6%	6.1%
食事や栄養	7.4%	4.7%
育児の方法	0.7%	0.4%
接し方に自信がない	4.8%	4.2%
子どもとの時間をとれない	9.4%	8.3%
話し相手や相談相手がない	0.4%	0.4%
仕事や自分のやりたいことができない	11.7%	7.4%
子どもの教育	5.3%	14.2%
友達づきあい(いじめも含む)	7.3%	12.5%
登園(校)拒否	0.0%	1.3%
パートナーの協力が少ない	3.7%	4.0%
パートナーと子育ての意見が合わない	1.4%	2.3%
親族・近隣の人・職場の目が気になる	1.8%	0.9%
パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	2.5%	1.5%
叱りすぎているような気がする	17.0%	15.9%
手を上げたり世話をできない	2.7%	0.9%
子育て支援の内容や申込み方法	1.6%	1.9%
休日や夜間すぐ診療や治療が受けられない	12.2%	9.8%
その他	2.7%	3.2%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

子育てに関して悩んでいること・気になること



(6) 子育て支援の充実について市への要望

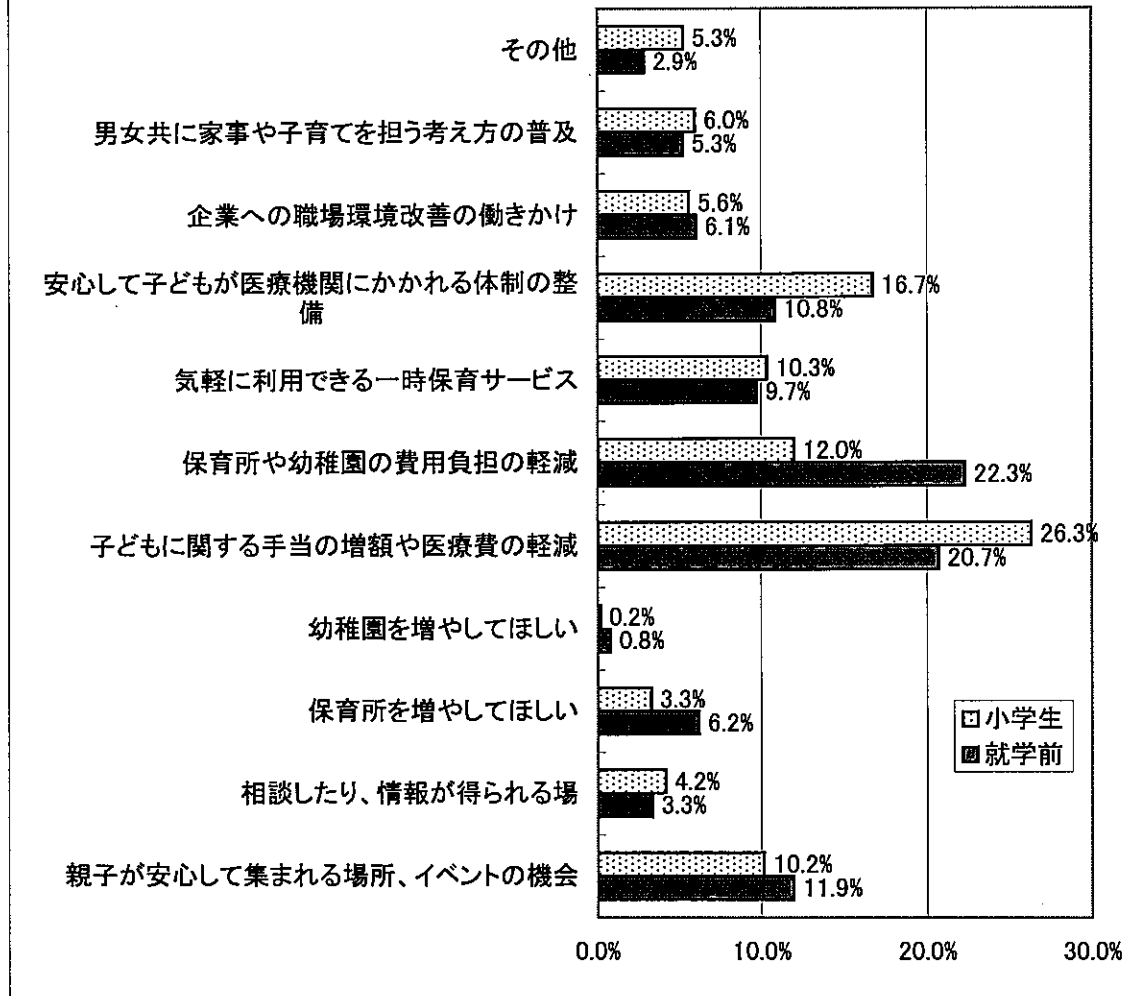
子育て支援の市への要望について、就学前においては、「保育所や幼稚園の費用負担の軽減」が22.3%、「子どもに関する手当の増額や医療費の軽減」が20.7%となっています。

また、小学生においては、「子どもに関する手当の増額や医療費の軽減」が26.3%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」が16.7%、「保育所や幼稚園の費用負担の軽減」が12.0%となり、経済的支援の充実が上位となっています。

	就学前	小学生
親子が安心して集まれる場所、イベントの機会	11.9%	10.2%
相談したり、情報が得られる場	3.3%	4.2%
保育所を増やしてほしい	6.2%	3.3%
幼稚園を増やしてほしい	0.8%	0.2%
子どもに関する手当の増額や医療費の軽減	20.7%	26.3%
保育所や幼稚園の費用負担の軽減	22.3%	12.0%
気軽に利用できる一時保育サービス	9.7%	10.3%
安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備	10.8%	16.7%
企業への職場環境改善の働きかけ	6.1%	5.6%
男女共に家事や子育てを担う考え方の普及	5.3%	6.0%
その他	2.9%	5.3%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

子育て支援の充実について市への要望

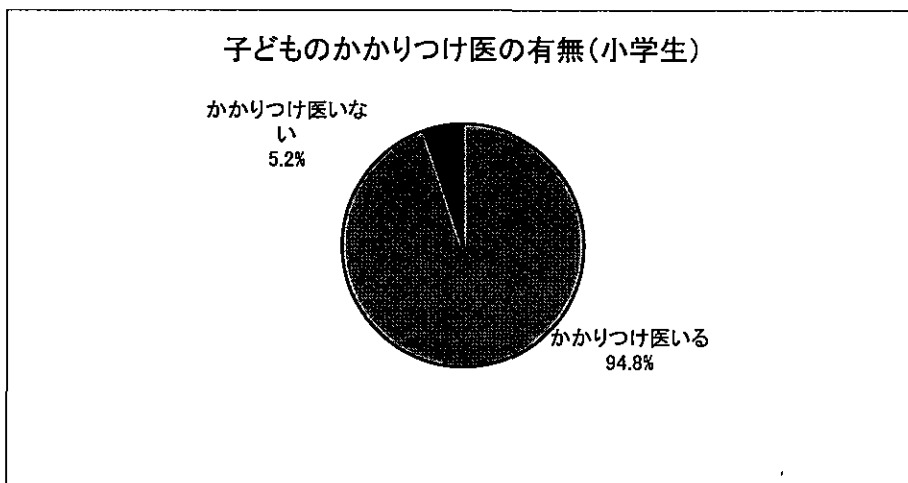
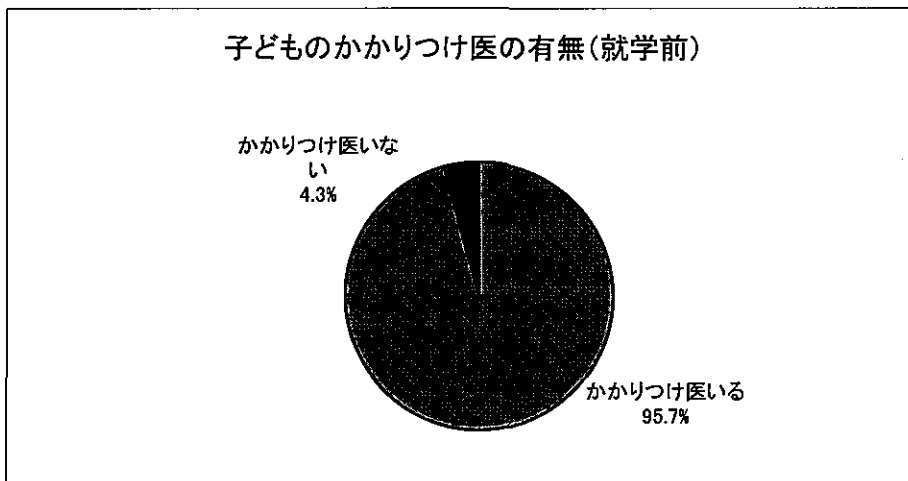


(1) 子どものかかりつけ医の有無

子どものかかりつけ医の有無については、「いる」が就学前で95.7%、小学生で94.8%で、ほとんどの人が「いる」と答えています。

	就学前	小学生
かかりつけ医いる	95.7%	94.8%
かかりつけ医いない	4.3%	5.2%

(平成21年桶川市ニーズ調査)

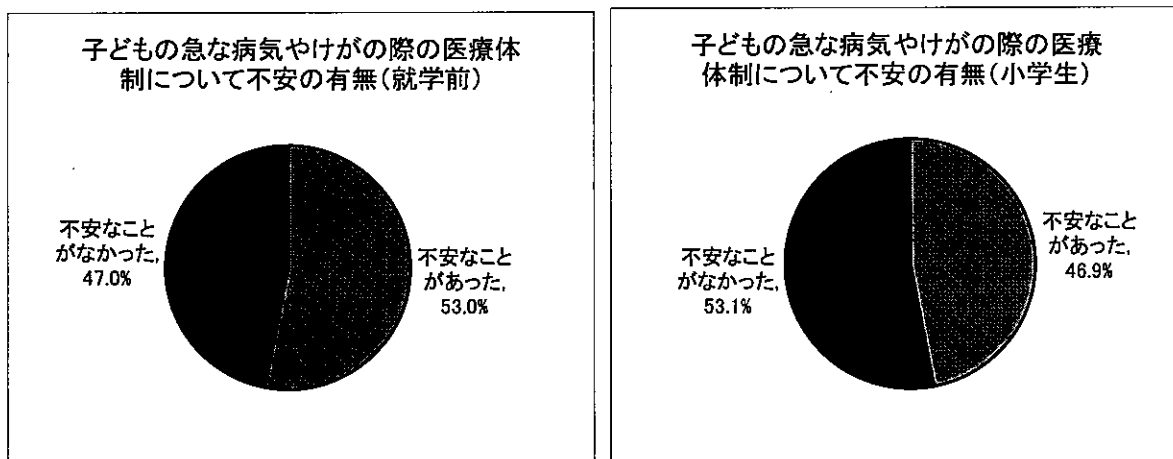


(2) 子どもの急な病気やけがの際の医療体制について不安なことの有無

子どもの急な病気やけがの際の医療体制について不安なことの有無については、「あった」が就学前で53.0%、小学生で46.9%となり、その内容は、下記の意見集計表のようになっています。

	就学前	小学生
不安なことがあった	53.0%	46.9%
不安なことがなかった	47.0%	53.1%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



意見集計表(就学前)

大項目	小項目	人数
医療	①夜間・休日小児救急に関すること (広報に掲載されている病院に断られる) (耳鼻科、外科、眼科などの病院数が少ない)	96
	②#8000(埼玉県小児救急電話相談)利用に関すること	9
	③病院の対応への不満(診療時間や医師不足)	14
	行政	①病後児保育の当日取り扱いについて

意見集計表(小学生)

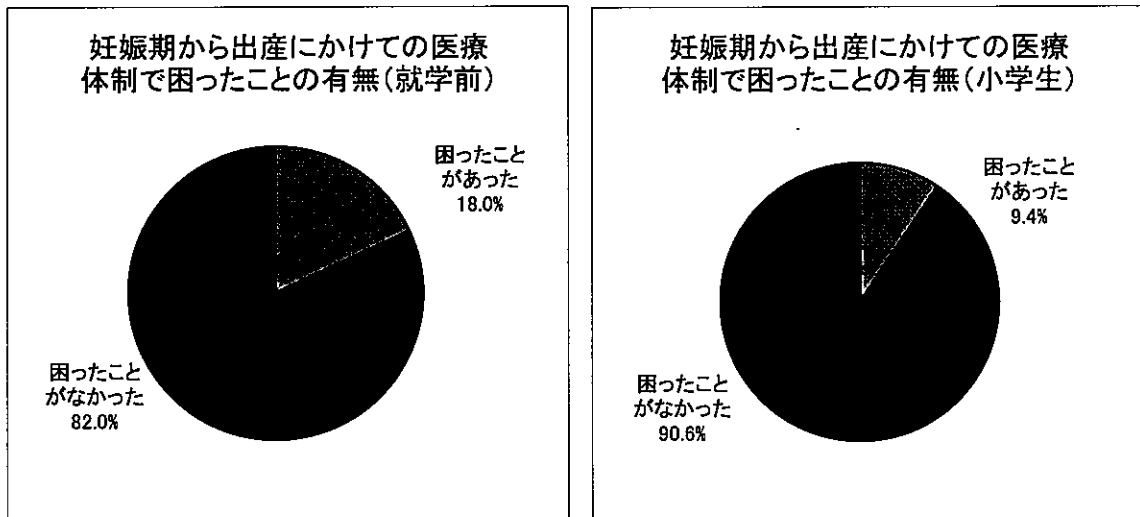
大項目	小項目	人数
医療	①夜間・休日小児救急に関すること (広報に掲載されている病院に断られる) (耳鼻科、外科、眼科などの病院数が少ない)	105
	②病院の待ち時間が長い	4
	③病院の対応への不満(診療時間や医師不足)	16
	④緊急時の処置の方法がわからない	2
	⑤保健室のベッド数を増やして休ませてほしい	1
行政	①法定伝染病後の医療付保育施設の増大希望	1

(3) 妊娠期から出産にかけての医療体制について困ったことの有無

妊娠期から出産にかけての医療体制について困ったことの有無については、「困ったことがあった」が、就学前で18.0%、小学生で9.4%となり、その内容は、下記の意見集計表のようになっています。

	就学前	小学生
困ったことがあった	18.0%	9.4%
困ったことがなかった	82.0%	90.6%

(平成21年桶川市ニーズ調査)



就学前意見集計

大項目	小項目	人数
周産期医療	①産婦人科の不足に関すること (診察までの待ち時間が長い)	36
	(出産時の対応・処置に関する不満)	
	②妊娠・出産費用に関する不安	4
	③妊娠中の家事・育児サポートに関すること	3

小学生意見集計

大項目	小項目	人数
医療	①産婦人科不足に関すること (待ち時間が長い)	15
	(スタッフ・処置の質など)	
	②夜間診療してくれる病院が見つからない	
	③第2子出産の際健診日に第1子を預かってほしい	2
	④診察代が高い	1

就学前 市の子育て支援事業についての意見・要望

大分類	小分類	人数
子育て環境	児童館の増設・改築に関すること	21
	子どもが参加できる行事の充実	3
	桶川駅東口等、公園の増設・整備（砂場の衛生や遊具）に関すること	21
	こどもに安全な道路整備に関すること	5
	幼稚園と保育所の料金などの差について	2
	パパママ応援ショップを利用できる店を増やしてほしい	5
保育園 幼稚園	公立保育園増設・市立幼稚園新設、土日預かり実施希望に関すること	15
	こどもの一時保育の充実に関すること	8
	保育園入所困難、料金の値下げに関すること	6
	10か月未満児の預かりについて	2
	保育所の延長保育について	4
	病後児保育の条件の緩和	2
手当て	出産一時金に関すること	4
	こども医療費病院窓口払い廃止、土日の提出先の設置に関すること	31
	児童手当増額に関すること	15
医療	夜間・休日当番医小児診療に関すること （広報に掲載されている病院で断られている）	6
	病児保育施設がほしい	4
	こどものインフルエンザ予防接種無料化に関すること	1
	市の教室・講座に参加する際の保育実施希望	1
その他	役所の対応への不満に関すること	8
	桶川駅東口エレベータ設置希望	1
	企業への勤務時間などの働きかけ	2
	教育者（教員）の責任・自覚不足への不満	5
	学童保育の充実（6年生まで・いろいろな作業体験など）	2

小学校 市の子育て支援事業についての意見・要望

大分類	小分類	人数
子育て環境	児童館の増設・改築に関すること	14
	子どもが参加できる行事の充実	2
	桶川駅東口等、公園の増設・整備（砂場の衛生や遊具）に関すること	22
	こどもに安全な道路整備に関すること	4
	城山公園プールの再開要望	3
	パパママ応援ショップを利用できる店を増やしてほしい	3
小学校・放課後児童クラブ	土曜日学校の再開要望	2
	放課後子ども教室の要望	3
	放課後児童クラブの充実に関すること（時間延長・長期休み時預かり含む）	28
	教育関係について（教員の資質・30人学級含む）	10
	下校時防犯パトロールの強化	4
	スクールバス運行要望	3
手当て	児童手当支払拡大に関すること（増額・高校生まで延長など）	7
	こども医療費病院窓口払い廃止に関すること	25
	医療費の無料化に関すること（高校生まで延長など）	5
	教育費用の軽減（幼稚園時の費用負担など）	2
	ひとり親家庭医療費の自己負担をなくしてほしい	1
医療	夜間・休日当番医小児診療に関すること （必ず小児科を入れてほしい、夜間・年末年始の医療体制整備など）	6
	病児保育施設がほしい	1
	こどものインフルエンザ予防接種無料化に関すること	3
その他	役所の対応への不満に関すること（出先機関含む）	12
	ファミリーサポートセンター制度に関すること（利用時間・利用料含む）	3
	べにばな号の増便	1
	子育て支援情報の広報活動に関すること	5

第 3 章 基本理念

すべての子どもが自分を大切に、自分らしく、自分の夢に向かって、のびのびと個性豊かに育つことは、多くの人々の心からの願いだと思います。家庭、地域、学校、行政などが協力して、社会全体で子育てを支援していくことが求められています。できることを一歩ずつ着実に進めながら、子どもが安心して、安全に成長していくことができる地域、社会の創造を目指したいと思います。

子どもを安心して産み育てることができる社会、一人ひとりの人権を尊重する地域でありたい、そんな願いをこめて、この「桶川市次世代育成支援行動計画」（後期計画）を策定しました。

この後期計画では、前期計画（平成17年度から21年度）の理念を引き継ぎ、「児童の権利に関する条約」を踏まえ、子どもの最善の利益を確保することを基本理念として、『子どもがのびのびと個性豊かに育ち、育てられるまち』を目指します。

第4章 重点施策

1 子育て支援拠点の整備

地域において気軽に子育て相談ができたり、親同士が交流したり、子育てに関する情報提供等が受けられるよう、地域子育て支援拠点を概ね中学校区に1か所整備します。

2 児童館の整備

子どもの様々な遊びや体験活動等の拠点として、また、子どもの居場所として、西側地区に児童館を1か所整備することが望まれます。児童館の整備に向けて計画的に推進していきます。

3 保育サービスの充実

女性の社会進出、就労の多様化、保護者の病気などの緊急時やリフレッシュ対応など様々な保育ニーズがあります。多様なニーズに応えるため、各種保育サービスの充実を図るとともに、保育所の整備を基本とし、幼稚園や企業の活用による定員拡大を図り、待機児童の解消に努めます。

4 放課後児童クラブの充実

放課後児童クラブは、放課後の子どもたちの健全育成の場として重要な施設となっています。保護者の就労等により増大するニーズに対応するため、既存施設の活用も含めて施設整備を計画的に進めていきます。

5 児童虐待防止対策の推進

子どもの安全や健やかな成長が脅かされる児童虐待の早期発見・早期対応を図るため、子どもを守る地域ネットワークとして「要保護児童対策地域協議会」により、保健、教育、福祉などの各機関が連携し、有効に支援することが重要です。そのために協議会を積極的に活用し、ネットワークによる連携強化を図っていきます。

6 ワークライフバランス（仕事と生活の両立）の推進

子育て支援、少子化対策の推進において、ワークライフバランスへの取り組みは、重要な課題です。子育てと仕事を両立するためには、男女共同参画意識に基づくワークライフバランスの考え方が重要です。このワークライフバランスについて、企業や地域を対象とした普及啓発事業に取り組みます。

第 5 章 施 策 の 体 系

1. 子どもを育てることに魅力を感じるまちづくり	(1)子育てを支援する施設整備の推進	①地域子育て支援拠点の整備
		②子育てサロンの整備
		③ファミリーサポートセンター事業の充実
		④児童館の整備
	(2)子育てを支援するサービス体制の充実	①相談事業の充実
		②多様な人材の確保と活用
		③子育て支援ネットワークづくりの推進
		④乳児の健全な育成環境の確保
	(3)子育て家庭の経済的負担の軽減	①支援制度の充実及び周知
		②医療費負担の軽減
		③教育費負担の軽減
		④家庭保育室保護者助成金の充実
	(4)子どもと親の健康づくりの推進	①総合的な母子保健システムの確立
		②小児医療体制の充実
		③食育の充実
		④健康教育・性教育の充実
	(5)潤いのあるまちづくりの推進	①子どもの体験活動の充実
		②遊び場の確保
		③子どもが安全に育つまちづくりの推進
		④公共施設のバリアフリー化の促進
⑤潤いのある環境の保全・整備		
2. 働きながら子どもを育てられるまちづくり	(1)保育サービスの充実	①多様な保育サービスの充実 ア 保育施設の整備 イ 乳児保育・低年齢児保育・延長保育・一時保育の充実 ウ 病後時保育の充実 エ 混合保育の充実
		②保育所の多機能化の推進
	(2)放課後児童クラブの充実	①放課後児童クラブの充実
	(3)子育てと仕事の両立支援の充実	①事業主への働きかけの推進
		②ワークライフバランスの推進
		③男女共同参画意識の啓発促進

3. どの子ども健やかに育ち、育てられるまちづくり（教育・人権の視点から）	(1)子どもの個性と豊かな心を育む教育の充実	①幼児教育の充実
		②学校教育の充実 ア 教育内容・方法の充実と教師の資質の向上 イ 特別支援教育の充実 ウ いじめ、少年非行等の問題や不登校への適切な対応 エ 命を大切にする心の教育及び環境教育などの推進 オ 教育への住民参加と教育活動の評価の推進
		③家庭教育の充実
		(2)子どもの人権の擁護
	(3)支援を要する子ども・家庭へのきめ細やかな取り組みの推進	①児童の権利に関する条約の普及促進
		②児童虐待防止対策の推進
	(3)支援を要する子ども・家庭へのきめ細やかな取り組みの推進	①ひとり親家庭等の自立支援の推進
		②障害児保育の充実